

2023年度

(令和5年度)

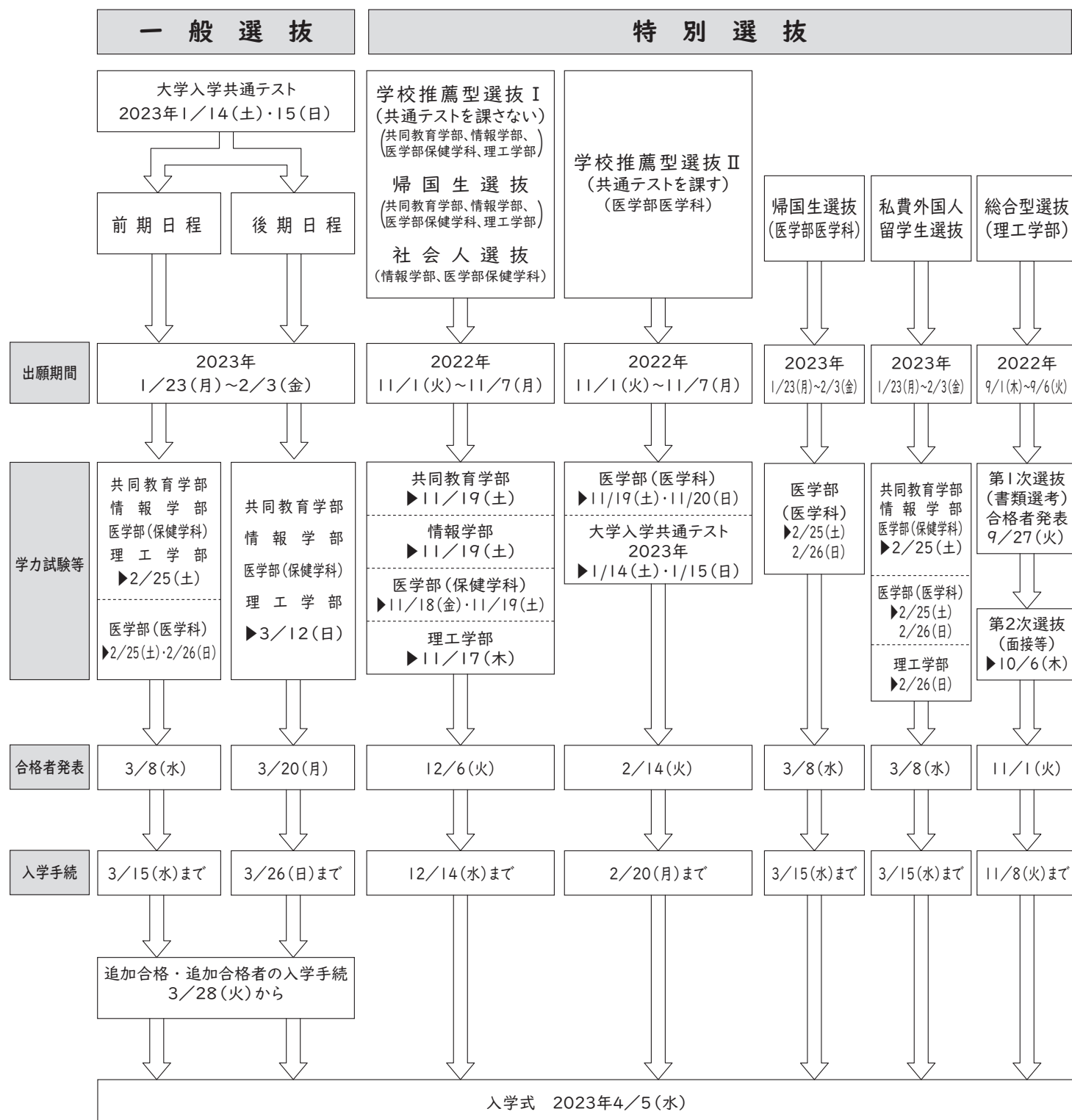
学校推薦型選抜 学生募集要項

新型コロナウイルス感染症の状況により選抜方法等が変更となる可能性がありますので本学ホームページで最新情報を確認してください。



群馬大学
GUNMA UNIVERSITY

群馬大学入学者選抜日程の概要



本学では、これらの入学者選抜のほか、編入学試験を実施します。

新型コロナウイルス感染症の罹患等により、前期及び後期日程が受験出来なかった場合は、3月22日(水)に追試験を行います。

詳細については、ホームページ若しくは裏表紙「入学試験に関する問合せ先」の各学部入試担当係へ問合せください。

インターネット出願について

群馬大学では、志願者の利便性向上及び入試業務の効率化を図るため、紙の募集要項ではなく、インターネット出願を導入しております。

インターネット出願の導入により、学生募集要項の取り寄せが不要となり、出願期間中は24時間いつでも出願登録ができます。

[空白ページ]

【群馬大学志願者の入学検定料免除について】

群馬大学では、東日本大震災及び風水害等の災害に罹災した志願者の進学のを支援する観点から、特別措置として検定料の全額を免除します。

免除の対象となる災害及び被災地域など、免除に関する詳細については、本学のホームページを御覧ください。

目 次

| | |
|-----------------------------|----|
| 群馬大学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー） | 1 |
| 各学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー） | 2 |
| 共同教育学部 | 2 |
| 情報学部 | 19 |
| 医学部医学科 | 21 |
| 医学部保健学科 | 23 |
| 理工学部 | 33 |
| 1. 学校推薦型選抜を実施する学部・学科等及び募集人員 | 38 |
| 2. 学校推薦型選抜の出願資格及び出願要件 | 39 |
| 3. 推薦人員 | 49 |
| 4. 出願手続 | 49 |
| 5. 受験票について | 58 |
| 6. 選抜方法 | 58 |
| 7. 障害等のある入学志願者との事前相談について | 64 |
| 8. 合格者の発表等 | 64 |
| 9. 受験心得 | 65 |
| 10. 入学手続等 | 66 |
| 11. 一般選抜等へのお願について | 67 |
| 12. 入学準備 | 68 |
| 13. 出願書類の記入上の注意 | 70 |
| 14. 別記 共同教育学部実技試験の内容等 | 70 |
| 15. 2023年度入試情報開示について | 72 |
| 16. 入学志願者の個人情報保護について | 72 |
| 17. 入試過去問題の利用について | 72 |
| 18. 類及び進級について（理工学部） | 73 |
| ◎受験の際の宿泊について | 74 |
| ◎試験場までの交通案内 | 74 |
| ◎ノート型パソコンの準備のお願いについて | 77 |
| ◎大学入学共通テスト受験教科・科目 自己確認表 | 78 |

[添付書類]

| | |
|-------|--|
| 様式 1 | 推薦書 |
| 別紙 | 推薦書記入上の注意 |
| 様式 2 | 活動報告書（活動歴が証明できない者用） |
| 様式 3 | 適性資質調査書（医学部医学科志願者用） |
| 別紙 | 適性資質調査書記入上の注意等 |
| 様式 4 | 志願理由書（共同教育学部、情報学部「一般枠」又は理工学部「G F L 特別枠」志願者用） |
| 様式 5 | 志願理由書（情報学部「プログラム特別枠」又は「G F L 特別枠」志願者用） |
| 様式 6 | 志願理由書（医学部医学科地域医療枠志願者用） |
| 様式 7 | 実技試験に関する届出用紙（共同教育学部音楽専攻志願者用） |
| 様式 8 | 作品制作証明書（作品写真）（共同教育学部美術専攻志願者用） |
| 様式 9 | 美術活動調査書（共同教育学部美術専攻志願者用） |
| 様式 10 | スポーツ活動調査書（共同教育学部保健体育専攻志願者用） |
| 様式 11 | 同意書（医学部医学科地域医療枠志願者用） |
| 様式 12 | 大学入学共通テスト成績請求票 貼付台紙（医学部医学科志願者用） |

※ 試験の実施に関して不測の事態（災害・事故等）が生じた場合は、本学ホームページ（入試情報）に掲載しますので、御確認ください。なお、追試験は、原則実施しません。

群馬大学ホームページ：<https://www.gunma-u.ac.jp/>

※ 試験前日又は試験当日に、最寄りの駅・バス停から試験場周辺にかけて勧誘や物品の販売等が行われていることがあります。これらの行為は群馬大学とは何ら関係がありません。不当な料金を請求される等のトラブルに巻き込まれないよう十分注意してください。そのような事故が生じて、群馬大学は一切責任を負いません。



https://page.line.me/gunma_univ_pr



https://twitter.com/gunma_uni_ad

※ LINEとTwitterから大学情報をお知らせしています。



<https://www.gunma-u.ac.jp/admission>

必ずお読みください

群馬大学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

<入学者に求める能力・資質>

群馬大学の理念、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな地域社会・国際社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求めています。

- 1 高等学校の教育課程についての総合的な理解と大学教育を受けるにふさわしい基礎学力がある。
- 2 専門分野を学ぶ上で必要な基礎知識と強い探究心、コミュニケーション能力を持っている。
- 3 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている。
- 4 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある。
- 5 高い志と豊かな発想力を持ち、未来を切り開く夢と情熱を持っている。
- 6 地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップを持っている。

<入学者選抜の方針・方法>

群馬大学は、本学で学びたい学生に対し、その多様な能力を評価し選抜するために、多様な受験機会・入学試験を提供します。また、本学の国際化推進基本計画に基づいて、海外からの留学生を積極的に受け入れる方針の下、受験機会を提供します。

本学の教育の目標、求める能力・資質に合致する学生を選抜するために、一般選抜（前期・後期）の他に、特別選抜として総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生選抜、社会人選抜、私費外国人留学生選抜、3年次編入学試験等の入学試験を実施します。本学の入学試験では、それぞれの学部・学科・課程の専門・特性に合わせて、大学入学共通テスト、個別学力検査、実技等試験、調査書、活動歴、面接、小論文等を組み合わせて、総合的に合否を判定します。

必ずお読みください

各学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

共同教育学部

本学部は、次のような人の入学を歓迎します。

- 1 教職を目指す明確な意志と情熱を有し、子どもの成長に関わることに喜びを感じられる人
- 2 「学ぶ」「教える」「育てる」「発達する」という行為・現象について関心があり、これらのことについて学修意欲のある人
- 3 ものごとを複数の視点から考察し、自ら判断することができる人
- 4 自己の考えを的確に表現し他者に伝えることができ、他者が表現する考えを受けとることができる人
- 5 様々な活動に主体的に取り組むことができるとともに、他者と協働することができる人
- 6 高等学校における履修内容を理解し、教職を目指すために必要な基礎学力を身に付けている人

<入学前に学習することが期待される内容>

高等学校における必修科目を理解していること（また、後に記載の各専攻における<入学前に学習することが期待される内容>を参照すること）

<入学者選抜の基本方針>

共同教育学部では上記素養を持つ学生を選抜するために、共通して行う入学者選抜方法では、次のような入学試験を実施します。（専攻個別の素養に関わる選抜方法については、後に記載の各専攻における<入学者選抜の基本方針>を参照すること）

○一般選抜 前期日程

（実施専攻：国語専攻、社会専攻、英語専攻、数学専攻、理科専攻、技術専攻、音楽専攻、美術専攻、家政専攻、保健体育専攻、教育専攻、教育心理専攻、特別支援教育専攻）

1～4に対しては小論文を課します。1～5に対しては面接を課します。6に対しては大学入学共通テストを課します。

○一般選抜 後期日程

（実施専攻：国語専攻、社会専攻、英語専攻、数学専攻、理科専攻、技術専攻、美術専攻、家政専攻、保健体育専攻、特別支援教育専攻）

1～5に対しては面接を課します。6に対しては大学入学共通テストを課します。

○学校推薦型選抜

（実施専攻：国語専攻、社会専攻、数学専攻、理科専攻、技術専攻、音楽専攻、美術専攻、保健体育専攻、教育専攻、教育心理専攻、特別支援教育専攻）

1～6に対しては面接を課します。また調査書等出願書類を参考資料として総合的に判定します。

○私費外国人留学生選抜

（実施専攻：国語専攻、社会専攻、英語専攻、数学専攻、理科専攻、技術専攻、音楽専攻、

美術専攻、家政専攻、保健体育専攻、教育専攻、教育心理専攻、特別支援教育専攻)

日本語での大学教育を受けられる日本語能力を身につけているかどうかを判断するために日本留学試験を課します。1～4に対しては小論文を課します。1～5に対しては面接を課します。また、成績証明書等を6の参考資料とします。

○帰国生選抜

(実施専攻：社会専攻、数学専攻、理科専攻、美術専攻、特別支援教育専攻)

1～6に対しては面接を課します。また、出願書類（成績証明書・調査書、身上記録書等）を加え、総合して判定します。

全専攻共通

<人材育成の目標>

優れた人間性と豊かな教養を有し、各教科についての深い認識と実践的な指導力を身に付けた、地域の教育界の発展に貢献できる教員の養成を目指します。

[国語専攻]

<入学者に求める能力・資質>

- 1 高等学校の教育課程、特に人文科学分野について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解がある人
- 2 主体的かつ協働的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている人
- 3 国語教育に対して強い探究心を持っている人
- 4 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある人

<入学前に学習することが期待される内容>

古文・漢文を含む国語全般についての科目を履修していること。

<入学者選抜の基本方針>

本専攻では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

○一般選抜 前期日程

1に対しては大学入学共通テストを課します。1～4に対しては面接を課します。

○一般選抜 後期日程

1に対しては大学入学共通テストを課します。1～4に対しては面接を課します。

○学校推薦型選抜

1～3に対しては小論文を、1～4に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書）を加え、総合して判定します。

○私費外国人留学生選抜

1～4に対しては面接を課します。1に対しては成績証明書等を参考資料とします。

<入学者選抜方法における重点評価項目>

該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する 「学力の3要素」 | | |
|------------|-------------------|------------------|-----------------|----------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・ 表現力 | 主体性・ 協働する態度 |
| 一般選抜 前期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 一般選抜 後期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 学校推薦型選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書・推薦書・ 志願理由書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 私費外国人留学生選抜 | 日本留学試験 | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書 | ○ | ○ | |

[社会専攻]

<入学者に求める能力・資質>

- 1 高等学校の教育課程、特に地理歴史科及び公民科の諸科目について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解がある人
- 2 人間社会の諸問題に幅広い探究心を持っている人
- 3 自らのことばで表現・発信しながらさまざまな立場の人々と積極的に議論できる人

<入学前に学習することが期待される内容>

- ・高等学校で「世界史B」、「日本史B」、「地理B」のうち2科目以上を履修していることが望ましい。
- ・高等学校で「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」のうち2科目以上を履修していることが望ましい。

<入学者選抜の基本方針>

本専攻では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

○一般選抜 前期日程

1 に対しては大学入学共通テストを課します。1～3 に対しては面接を課します。

○一般選抜 後期日程

1 に対しては大学入学共通テストを課します。1～3 に対しては面接を課します。

○学校推薦型選抜

1及び2に対しては小論文を課します。1～3に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書）を加え、総合して判定します。

○私費外国人留学生選抜

1～3に対しては面接を課し、1に対しては成績証明書等を参考資料とします。

○帰国生選抜

1及び2に対しては小論文を課します。1～3に対しては面接を課します。また、出願書類（成績証明書・調査書、身上記録書等）を加え、総合して判定します。

<入学者選抜方法における重点評価項目>

該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|------------|-----------------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 一般選抜 前期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 一般選抜 後期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 学校推薦型選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書・推薦書・志願理由書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 私費外国人留学生選抜 | 日本留学試験 | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書 | ○ | ○ | |
| 帰国生選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書・調査書・身上記録書 | 面接時の参考資料として利用 | | |

[英語専攻]

<入学者に求める能力・資質>

- 1 高等学校の教育課程について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解があり、特に英語の「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」の4技能をバランスよく身に付けている人
- 2 論理的で柔軟な思考能力を持ち、直面する課題を正しく理解し、自ら判断し、自分の考えを表現する能力を持っている人
- 3 知的好奇心が旺盛で、探究心が強く、主体的に学び、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある人
- 4 様々な課題に対して、多様な人々と協働して取り組む姿勢がある人

<入学前に学習することが期待される内容>

- ・入学試験で選択した科目について基礎的知識と総合的理解力を有していることが望ましい。
- ・英検2級以上の力を付けておくことが望ましい。

<入学者選抜の基本方針>

本専攻では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

○一般選抜 前期日程

1 に対しては大学入学共通テストを課します。また、英語の「聞く」、「話す」能力及び2～4 に対しては面接を課します。

○一般選抜 後期日程

1 に対しては大学入学共通テストを課します。また、英語の「聞く」、「話す」能力及び2～4 に対しては面接を課します。

○私費外国人留学生選抜

英語の「聞く」、「話す」能力及び2～4 に対しては面接を課します。また、1 に対しては成績証明書等を参考資料とします。

<入学者選抜方法における重点評価項目>

該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|------------|-----------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 一般選抜 前期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 一般選抜 後期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 私費外国人留学生選抜 | 日本留学試験 | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書 | ○ | ○ | |

[数学専攻]

<入学者に求める能力・資質>

- 1 高等学校の教育課程、特に自然科学分野について総合的理解のある人
- 2 論理的で柔軟な思考能力を持っている人
- 3 主体的に学ぶ姿勢を持ち、新しい課題に積極的に取り組む意欲のある人

<入学前に学習することが期待される内容>

数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・Bを履修していること。

<入学者選抜の基本方針>

本専攻では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

○一般選抜 前期日程

1 に対しては大学入学共通テストを課します。1～3 に対しては面接を課します。

○一般選抜 後期日程

1 に対しては大学入学共通テストを課します。1～3 に対しては面接を課します。

○学校推薦型選抜

1 及び2 に対しては小論文を課します。1～3 に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書等）を加え、総合して判定します。

○私費外国人留学生選抜

1～3 に対しては面接を課し、1 に対しては成績証明書等を参考資料とします。

○帰国生選抜

1 及び2 に対しては小論文を課します。1～3 に対しては面接を課します。また、出願書類（成績証明書・調査書、身上記録書等）を加え、総合して判定します。

<入学者選抜方法における重点評価項目>

該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|------------|-----------------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 一般選抜 前期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 一般選抜 後期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 学校推薦型選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書・推薦書・志願理由書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 私費外国人留学生選抜 | 日本留学試験 | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書 | ○ | ○ | |
| 帰国生選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書・調査書・身上記録書 | 面接時の参考資料として利用 | | |

[理科専攻]

<入学者に求める能力・資質>

1 高等学校の教育課程（特に理科）について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理

解がある人

- 2 自然科学と理科教育に対して強い興味・関心を持っている人
- 3 理科の知識に基づいた思考・判断ができ、それを論理的に表現できる人
- 4 周囲の人々と協働しながら、実験・観察に主体的に取り組むことができる人

<入学前に学習することが期待される内容>

物理、化学、生物、地学のうち2科目及び数学Ⅲを履修していることが望ましい。

<入学者選抜の基本方針>

本専攻では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

○一般選抜 前期日程

1 に対しては大学入学共通テストを課します。1～4 に対しては面接を課します。

○一般選抜 後期日程

1 に対しては大学入学共通テストを課します。1～4 に対しては面接を課します。

○学校推薦型選抜

1～3 に対しては小論文を、1～4 に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書）を加え、総合して判定します。

○私費外国人留学生選抜

1～4 に対しては面接を課し、1 に対しては成績証明書等を参考資料とします。

○帰国生選抜

1～3 に対しては小論文を課します。1～4 に対しては面接を課します。また、出願書類（成績証明書・調査書、身上記録書等）を加え、総合して判定します。

<入学者選抜方法における重点評価項目>

該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|------------|---------------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 一般選抜 前期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 一般選抜 後期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 学校推薦型選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書・推薦書・志願理由書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 私費外国人留学生選抜 | 日本留学試験 | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書 | ○ | ○ | |

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|-------|-----------------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 帰国生選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書・調査書・身上記録書 | 面接時の参考資料として利用 | | |

[技術専攻]

<入学者に求める能力・資質>

- 1 小学校・中学校又は高等学校の教員となる強い意志を有し、在学中から児童・生徒の模範として行動できる人
- 2 論理的で柔軟な思考力を持っている人
- 3 科学技術やものづくりに対して強い興味・関心のある人
- 4 様々な学問分野について自ら積極的に学ぶ姿勢を持っている人

<入学前に学習することが期待される内容>

数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む）を履修していることが望ましい。

<入学者選抜の基本方針>

本専攻では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

○一般選抜 前期日程

1～4に対しては面接を課します。

○一般選抜 後期日程

1～4に対しては面接を課します。

○学校推薦型選抜

1～3に対しては小論文を、1～4に対しては面接を課します。また、出願書類のうち志願理由書は1～4の判断資料とします。さらに推薦書と調査書を加え総合して判定します。

○私費外国人留学生選抜

1～4に対しては面接を課し、成績証明書等を参考資料とします。

<入学者選抜方法における重点評価項目>

該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|------------|-----------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 一般選抜 前期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 一般選抜 後期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 学校推薦型選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 志願理由書 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書・推薦書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 私費外国人留学生選抜 | 日本留学試験 | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書 | ○ | ○ | |

[音楽専攻]

<入学者に求める能力・資質>

- 1 高等学校の教育課程、特に「芸術」の「音楽」分野において、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解があり、声楽・器楽等の十分な知識や技能を有している人
- 2 音楽理論をよく理解し、音楽についての深い思考力、判断力、表現力を持っている人
- 3 主体的に、そして多様な人々と協働して学ぶことができ、実践することができる人

<入学前に学習することが期待される内容>

音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（あるいは同等の科目）のうち2つ以上及び英語を履修していることが望ましい。

<入学者選抜の基本方針>

本専攻では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

○一般選抜 前期日程

1及び2に対しては実技を、1～3に対しては面接を課します。

○学校推薦型選抜

1及び2に対しては実技を、1～3に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書）を加え、総合して判定します。

○私費外国人留学生選抜

1及び2に対しては実技を課します。また、1～3に対しては面接を課し、成績証明書等を参考資料とします。

<入学者選抜方法における重点評価項目>

該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|------------|---------------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 一般選抜 前期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 実技 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 学校推薦型選抜 | 実技 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書・推薦書・志願理由書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 私費外国人留学生選抜 | 日本留学試験 | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 実技 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書 | ○ | ○ | |

[美術専攻]

<入学者に求める能力・資質>

- 1 高等学校の教育課程、特に芸術を含む人文・社会科学分野等において、大学教育を受けるにふさわしい思考力・判断力・表現力等の総合的学力を身に付けている人
- 2 美術の基礎的な造形表現能力を持ち、美術と社会との関係を深く考えることができる人
- 3 主体的に学び、協働して取り組む姿勢を持っている人
- 4 創造活動や新たな課題に積極的に取り組む意欲がある人

<入学前に学習することが期待される内容>

- ・美術Ⅰを履修していることが望ましい。
- ・美術館等に行くことを通して社会や教育における美術の働きについて考える習慣を身に付けていることが望ましい。

<入学者選抜の基本方針>

本専攻では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

○一般選抜 前期日程

1、2及び4に対しては実技を課します。また、1～4に対しては面接を課します。

○一般選抜 後期日程

1、2及び4に対しては実技を課します。また、1～4に対しては面接を課します。

○学校推薦型選抜

1、2及び4に対しては実技を課し、また美術活動調査書を加え、総合して判定します。1～4に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書）を加え、総合して判定します。

○私費外国人留学生選抜

1、2及び4に対しては実技を課します。また、1～4に対しては面接を課します。
1に対しては成績証明書等を参考資料とします。

○帰国生選抜

1、2及び4に対しては実技を課し、また美術活動調査書を加え、総合して判定します。
1～4に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書）を加え、総合して判定します。

<入学者選抜方法における重点評価項目>

該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|------------|-----------------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 一般選抜 前期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 実技 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 一般選抜 後期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 実技 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 学校推薦型選抜 | 実技 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 美術活動調査書 | ○ | ○ | |
| | 調査書・推薦書・志願理由書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 私費外国人留学生選抜 | 日本留学試験 | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 実技 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書 | ○ | ○ | |
| 帰国生選抜 | 実技 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 美術活動調査書 | ○ | ○ | |
| | 成績証明書・調査書・身上記録書 | 面接時の参考資料として利用 | | |

[家政専攻]

<入学者に求める能力・資質>

- 1 高等学校の教育課程、特に家庭科や自然科学・社会科学分野の知識と総合的理解力を持っている人
- 2 家政学及び生活科学について主体的に探究し、多様な人々と協働して学べる人

3 生活問題や新しい課題に対して自ら思考・判断し、積極的に取り組む意欲のある人

<入学前に学習することが期待される内容>

家庭科、化学や生物などの自然科学分野、公民や歴史などの社会科学分野の知識を有していることが望ましい。

<入学者選抜の基本方針>

本専攻では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

○一般選抜 前期日程

1 に対しては大学入学共通テストを課します。1～3 に対しては面接を課します。

○一般選抜 後期日程

1 に対しては大学入学共通テストを課します。1～3 に対しては面接を課します。

○私費外国人留学生選抜

1～3 に対しては面接を課し、成績証明書等を参考資料とします。

<入学者選抜方法における重点評価項目>

該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|------------|-----------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 一般選抜 前期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 一般選抜 後期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 私費外国人留学生選抜 | 日本留学試験 | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書 | ○ | ○ | |

[保健体育専攻]

<入学者に求める能力・資質>

- 1 保健体育及び運動・スポーツ活動に興味を持ち、それらに関する基礎的な知識・技能を有する人
- 2 保健体育及び運動・スポーツ活動に関わる課題を見出し、課題解決に向けて思考、判断、表現しながら、粘り強く努力する人
- 3 教職を目指すために、主体的かつ協働的に学ぼうとする人
- 4 子どもたちとともに運動の楽しさや喜びを味わえる人

<入学前に学習することが期待される内容>

- ・高等学校までの保健体育に関する基礎的知識を有している。
- ・運動やスポーツ活動における基礎体力及び運動技能を有している。
- ・自信を持って実践できる運動やスポーツ活動の経験を有している。

<入学者選抜の基本方針>

本専攻では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

○一般選抜 前期日程

1～3に対しては実技を課します。また、1～4に対しては面接を課します。

○一般選抜 後期日程

1～3に対しては実技を課します。また、1～4に対しては面接を課します。

○学校推薦型選抜

1及び2に対しては小論文を課し、スポーツ活動調査書を加え、総合して判定します。1～4に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書）を加え、総合して判定します。

○私費外国人留学生選抜

1～3に対しては実技を課します。また、1～4に対しては面接を課し、成績証明書等を参考資料とします。

<入学者選抜方法における重点評価項目>

該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|------------|---------------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 一般選抜 前期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 実技 | ○ | ○ | ○ |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 一般選抜 後期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 実技 | ○ | ○ | ○ |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 学校推薦型選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | スポーツ活動調査書 | ○ | | |
| | 調査書・推薦書・志願理由書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 私費外国人留学生選抜 | 日本留学試験 | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 実技 | ○ | ○ | ○ |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書 | ○ | ○ | |

[教育専攻]

<入学者に求める能力・資質>

- 1 高等学校で履修した各科目について幅広い知識を身に付けた人
- 2 教育問題など現代社会の諸問題に対する強い探究心を有している人
- 3 教科外の諸活動にも積極的に参加し、多くの人と関わって物事に取り組む経験をしてきた人

<入学前に学習することが期待される内容>

入学試験で選択した科目に限らず幅広く学習していることが望ましい。

<入学者選抜の基本方針>

本専攻では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

○一般選抜 前期日程

1 に対しては共通テストを課します。1～3 に対しては面接を課します。

○学校推薦型選抜

1 及び2 に対しては小論文を課します。1～3 に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書）を加え、総合して判定します。

○私費外国人留学生選抜

1～3 に対しては面接を課し、1 に対しては成績証明書等を参考資料とします。

<入学者選抜方法における重点評価項目>

該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|------------|---------------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 一般選抜 前期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 学校推薦型選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書・推薦書・志願理由書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 私費外国人留学生選抜 | 日本留学試験 | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書 | ○ | ○ | |

[教育心理専攻]

<入学者に求める能力・資質>

- 1 高等学校で履修した各科目について幅広い知識を身に付けた人
- 2 教育問題など現代社会の諸問題について、様々な観点から思考・判断・表現する力を有している人
- 3 他者とともに物事に主体的に取り組むことを通して成長してきた人

<入学前に学習することが期待される内容>

入学試験で選択した科目に限らず幅広く学習していることが望ましい。

<入学者選抜の基本方針>

本専攻では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

○一般選抜 前期日程

1 に対しては共通テストを課します。1～3 に対しては面接を課します。また、調査書を参考とします。

○学校推薦型選抜

1 及び2 に対しては小論文を課します。1～3 に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書等）を加え、総合して判定します。

○私費外国人留学生選抜

1～3 に対しては面接を課し、1 に対しては成績証明書等を参考資料とします。

<入学者選抜方法における重点評価項目>

該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|------------|---------------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 一般選抜 前期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 学校推薦型選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書・推薦書・志願理由書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 私費外国人留学生選抜 | 日本留学試験 | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書 | ○ | ○ | |

[特別支援教育専攻]

<入学者に求める能力・資質>

- 1 高等学校の教育課程について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解のある人
- 2 主体的に学ぶ姿勢と、教員にふさわしい論理的で柔軟な思考能力を持っている人
- 3 特別支援教育に対し、強い意欲がある人

<入学前に学習することが期待される内容>

特別支援教育に携わる教員にふさわしい、読解・記述の能力、各教科の基礎知識を備えていること。

<入学者選抜の基本方針>

本専攻では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

○一般選抜 前期日程

1 に対しては共通テストを課します。1～3 に対しては面接を課します。

○一般選抜 後期日程

1 に対しては共通テストを課します。1～3 に対しては面接を課します。

○学校推薦型選抜

1 及び 2 に対しては小論文を課します。1～3 に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書）を加え、総合して判定します。

○私費外国人留学生選抜

1～3 に対しては面接を課し、成績証明書等を参考資料とします。

○帰国生選抜

1 及び 2 に対しては小論文を課します。1～3 に対しては面接を課します。また、出願書類（成績証明書・調査書、身上記録書等）を加え、総合して判定します。

<入学者選抜方法における重点評価項目>

該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|-----------|---------------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 一般選抜 前期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 一般選抜 後期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 学校推薦型選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書・推薦書・志願理由書 | 面接時の参考資料として利用 | | |

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|------------|---------------------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 私費外国人留学生選抜 | 日本留学試験 | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書 | ○ | ○ | |
| 帰国生選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書・調査書・ 身上記録書 | 面接時の参考資料として利用 | | |

必ずお読みください

情報学部

<人材育成の目標>

人工知能（AI）やIoTを含む先端技術の創出・利活用を可能とする知識基盤を備え、人文科学・社会科学の知見から情報社会における課題を発見し、情報科学とデータサイエンスの知識を総合することで、持続可能でインクルーシブな社会（Society5.0）の発展と課題解決に寄与できる人材の育成を目指す。

<入学者に求める能力・資質>

群馬大学の理念、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな地域社会・国際社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求める。

- 1 高等学校の教育課程についての総合的な理解と大学教育を受けるにふさわしい基礎学力がある人
- 2 情報学を学ぶ上で必要な基礎知識と強い探求心、コミュニケーション能力を持っている人
- 3 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている人
- 4 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある人
- 5 高い志と豊かな発想力を持ち、未来を切り開く夢と情熱を持っている人
- 6 地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップを持っている人

<入学前に学習することが期待される内容>

人文情報プログラムあるいは社会共創プログラムを選択しようとする者は、外国語能力の向上と多文化の理解に関心があることが望まれる。また、データサイエンスプログラムあるいは計算機科学プログラムを選択しようとする者は、自然科学、中でも数学を基礎とする分野に強い探求心を持っていることが望まれる。

<入学者選抜の基本方針>

本学科では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

○一般選抜 前期日程

1 に対しては大学入学共通テストを課し、1及び3に対しては学力試験を課します。

○一般選抜 後期日程

1 に対しては大学入学共通テストを課し、1及び3に対しては小論文を課します。

○学校推薦型選抜

1及び3に対しては小論文を、2～6に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、推薦書）を加え、総合して判定します。

○私費外国人留学生選抜

日本語での大学教育を受けられる日本語能力を身につけているかどうかを判断するために日本留学試験を課しています。また、1及び3に対しては学力試験を、2～6に対しては面接を課します。さらに、成績証明書を加え、総合して判定します。

○帰国生選抜

1及び3に対しては小論文と学力試験を、2～6に対しては面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。

○社会人選抜

1及び3に対しては小論文と学力試験を、2～6に対しては面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。

○3年次編入学

1及び3に対しては小論文を、2～6に対しては面接を課します。また、出身学校の成績証明書及び志望理由書等を加え、総合して判定します。

<入学者選抜方法における重点評価項目>

該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|------------|---------------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 一般選抜 前期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 学力試験 | ○ | ○ | |
| | 調査書 | | | ○ |
| 一般選抜 後期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 調査書 | | | ○ |
| 学校推薦型選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書・推薦書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 私費外国人留学生選抜 | 日本留学試験 | ○ | ○ | |
| | 学力試験 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書 | ○ | | |
| 帰国生選抜 | 学力試験 | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 出願書類 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 社会人選抜 | 学力試験 | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 出願書類 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 3年次編入学 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書及び志望理由書等 | 面接時の参考資料として利用 | | |

必ずお読みください

医学部医学科

医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることをふまえ、医学生として、科学的知 (Science)、倫理 (Ethics)、技能 (Skill) の3つの面にわたって自己研鑽に励むことができる人

- 1 豊かな感受性、奉仕の精神を備え、医師としてふさわしい資質を身に付けることを目指して、不断の努力を積み重ねられる人
- 2 医療、医学研究、医学教育もしくは医療行政などの分野において、社会に貢献することへの志と強い信念を持っている人
- 3 本学科の教育内容を理解するために必要な総合的基礎学力を十分に備えている人

<入学前に学習することが期待される内容>

特に日常的な学習が十分に行われていることが望ましいのは、国語と英語である。専門科目を学ぶために必要となるのは、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・Bであり、理科では、受験科目にかかわらず、物理（物理基礎を含む）、化学（化学基礎を含む）、生物（生物基礎を含む）である。

<入学者選抜の基本方針>

本学科では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

○一般選抜 前期日程

3に対しては大学入学共通テストと学力検査（数学、理科）を、1、2、3に対しては小論文と面接を課します。

○学校推薦型選抜

3に対しては大学入学共通テストを課し、1、2、3に対しては小論文と面接を課します。また、出願書類（調査書、推薦書、適正資質調査書、志望理由書）を加え、総合して判定します。

○私費外国人留学生選抜

日本語での大学教育を受けられる日本語能力を身につけているかどうかを判断するために日本留学試験を課しています。また、3に対しては学力検査（数学、理科）を、1、2、3に対しては小論文と面接を課します。さらに、成績証明書を加え、総合して判定します。

○帰国生選抜

3に対しては学力検査（数学、理科）を、1、2、3に対しては小論文と面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。

○2年次編入学

1、2、3に対しては小論文と面接を課します。また、出願書類等を加え、総合して判定します。

<入学者選抜方法における重点評価項目>

該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものの

ではありません。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|------------|-----------------------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 一般選抜 前期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 学力検査（数学、理科） | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書・志望理由書（地域医療枠志願者のみ） | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 学校推薦型選抜 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | ○ | ○ | ○ |
| | 推薦書 | | ○ | ○ |
| | 適正資質調査書 | | ○ | ○ |
| | 志望理由書（地域医療枠志願者のみ） | | ○ | ○ |
| 私費外国人留学生選抜 | 日本留学試験 | ○ | ○ | |
| | 学力検査（数学、理科） | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 帰国生選抜 | 学力検査（数学、理科） | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 出願書類 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 2年次編入学 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 出願書類等 | 面接時の参考資料として利用 | | |

必ずお読みください

医学部保健学科

<人材育成の目標>

- 1 豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重し、全人的医療を担う人材を育成します。
- 2 本学科での学修を通して、学士（看護学・保健学）に求められる知識、技能、態度、創造的思考力を身に付けた人材を育成します。
- 3 将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を持ち、地域や国際社会での保健医療の諸課題に広く対応できる人材を育成します。
- 4 保健医療の現場においてチーム医療を担う人材を育成します。
- 5 看護師・助産師・保健師、臨床検査技師・細胞検査士、理学療法士、作業療法士となることを通じて、高度化・専門化する保健医療専門職の次世代のリーダーや教育・研究者を育成します。

<入学者に求める能力・資質>

- 1 柔軟な発想、みずみずしい感性、高い意欲を持っていること。
- 2 他者とのコミュニケーションが円滑にできること。
- 3 理系課題に対して、論理的な思考を行い、他人に説明できること。
- 4 文系課題に対して、自らの考えを交えて要約して他人に説明できること。
- 5 英文課題に対して、自らの考えと併せて他人に説明できること。

<入学前に学習することが期待される内容>

- 1 各入学者選抜の出願要件に定める科目について履修又は履修見込みであること。

<入学者選抜の基本方針>

本学科では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

○一般選抜 前期日程

3～5に対しては大学入学共通テストを課し、1、3及び5に対しては小論文を課します。また、1及び2に対しては出願書類（調査書）により評価を行った上で、総合して判定します。

○一般選抜 後期日程

3～5に対しては大学入学共通テストを課し、1、3及び5に対しては小論文を課します。また、1及び2に対しては出願書類（調査書）により評価を行った上で、総合して判定します。

○学校推薦型選抜

1及び3～5に対しては小論文を、1及び2に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、推薦書）を加え、総合して判定します。

○私費外国人留学生選抜

日本語での大学教育を受けられる日本語能力を身に付けているかどうかを判断するために日本語試験を課しています。また、1、3及び5に対しては小論文を、1及び2に対しては面接を課します。さらに、成績証明書を加え、総合して判定します。

○帰国生選抜

1及び3～5に対しては小論文を、1及び2に対しては面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。

○社会人選抜

1及び3～5に対しては小論文を、1及び2に対しては面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。

○3年次編入学

3～5に対しては学力試験（専門科目、外国語）を、1及び2に対しては面接を課します。また、出身学校の成績証明書及び志望理由書等を加え、総合して判定します。

<入学者選抜方法における重点評価項目>

該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|------------|--------------------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 一般選抜 前期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 調査書 | ○ | ○ | ○ |
| 一般選抜 後期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 調査書 | ○ | ○ | ○ |
| 学校推薦型選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 調査書・推薦書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 私費外国人留学生選抜 | 日本留学試験 | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 成績証明書 | ○ | | |
| 帰国生選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 出願書類 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 社会人選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 出願書類 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 3年次編入学 | 学力試験 (専門科目、外国語) | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 成績証明書及び 志望理由書等 | ○ | ○ | |

[看護学専攻]

<人材育成の目標>

- 1 豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重し、全人的医療を担う人材を育成します。
- 2 本学科での学習を通して、学士（看護学）に求められる知識、技能、態度、創造的思考力を身に付けた 人材を育成します。
- 3 将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を持ち、地域や国際社会での保健医療の諸課題に広く対応できる人材を育成します。
- 4 保健医療の現場においてチーム医療を担う人材を育成します。
- 5 看護師・助産師・保健師となることを通じて、高度化・専門化する保健医療専門職の次世代のリーダーや教育・研究者を育成します。

<入学前に学習することが期待される内容>

- 1 各入学者選抜の出願要件に定める科目について履修又は履修見込みであること。

<入学者選抜の基本方針>

本学科では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

○一般選抜 前期日程

3～5に対しては大学入学共通テストを課し、1、3及び5に対しては小論文を課します。また、1及び2に対しては出願書類（調査書）により評価を行った上で、総合して判定します。

○一般選抜 後期日程

3～5に対しては大学入学共通テストを課し、1、3及び5に対しては小論文を課します。また、1及び2に対しては出願書類（調査書）により評価を行った上で、総合して判定します。

○学校推薦型選抜

1及び3～5に対しては小論文を、1及び2に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、推薦書）を加え、総合して判定します。

○私費外国人留学生選抜

日本語での大学教育を受けられる日本語能力を身に付けているかどうかを判断するために日本留学試験を課しています。また、1、3及び5に対しては小論文を、1及び2に対しては面接を課します。さらに、成績証明書を加え、総合して判定します。

○帰国生選抜

1及び3～5に対しては小論文を、1及び2に対しては面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。

○社会人選抜

1及び3～5に対しては小論文を、1及び2に対しては面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。

○3年次編入学

3～5に対しては学力試験（専門科目、外国語）を、1及び2に対しては面接を課します。また、出身学校の成績証明書及び志望理由書等を加え、総合して判定します。

<入学者選抜方法における重点評価項目>

該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものと

ではありません。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|------------|--------------------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 一般選抜 前期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 調査書 | ○ | ○ | ○ |
| 一般選抜 後期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 調査書 | ○ | ○ | ○ |
| 学校推薦型選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 調査書・推薦書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 私費外国人留学生選抜 | 日本留学試験 | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 成績証明書 | ○ | | |
| 帰国生選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 出願書類 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 社会人選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 出願書類 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 3年次編入学 | 学力試験 (専門科目、外国語) | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 成績証明書及び志望理由書等 | ○ | ○ | |

[検査技術科学専攻]

<人材育成の目標>

- 1 豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重し、全人的医療を担う人材を育成します。
- 2 本学科での学習を通して、学士（保健学）に求められる知識、技能、態度、創造的思考力を身に付けた人材を育成します。
- 3 将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を持ち、地域や国際社会での保健医療の諸課題に広く対応できる人材を育成します。
- 4 保健医療の現場においてチーム医療を担う人材を育成します。
- 5 臨床検査技師・細胞検査士となることを通じて、高度化・専門化する保健医療専門職の次世代のリーダーや教育・研究者を育成します。

<入学者に求める能力・資質>

- 1 柔軟な発想、みずみずしい感性、高い意欲を持っていること。
- 2 他者とのコミュニケーションが円滑にできること。
- 3 理系課題に対して、論理的な思考を行い、他人に説明できること。

- 4 文系課題に対して、自らの考えを交えて要約して他人に説明できること。
- 5 英文課題に対して、自らの考えと併せて他人に説明できること。

<入学前に学習することが期待される内容>

- 1 各入学者選抜の出願要件に定める科目について履修又は履修見込みであること。

<入学者選抜の基本方針>

本学科では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

○一般選抜 前期日程

3～5に対しては大学入学共通テストを課し、1、3及び5に対しては小論文を課します。また、1及び2に対しては出願書類（調査書）により評価を行った上で、総合して判定します。

○一般選抜 後期日程

3～5に対しては大学入学共通テストを課し、1、3及び5に対しては小論文を課します。また、1及び2に対しては出願書類（調査書）により評価を行った上で、総合して判定します。

○学校推薦型選抜

1及び3～5に対しては小論文を、1及び2に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、推薦書）を加え、総合して判定します。

○私費外国人留学生選抜

日本語での大学教育を受けられる日本語能力を身に付けているかどうかを判断するために日本留学試験を課しています。また、1、3及び5に対しては小論文を、1及び2に対しては面接を課します。さらに、成績証明書を加え、総合して判定します。

○帰国生選抜

1及び3～5に対しては小論文を、1及び2に対しては面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。

○社会人選抜

1及び3～5に対しては小論文を、1及び2に対しては面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。

○3年次編入学

3～5に対しては学力試験（専門科目、外国語）を、1及び2に対しては面接を課します。また、出身学校の成績証明書及び志望理由書等を加え、総合して判定します。

<入学者選抜方法における重点評価項目>

該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|-----------|-----------|--------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 一般選抜 前期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 調査書 | ○ | ○ | ○ |

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|------------|--------------------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 一般選抜 後期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 調査書 | ○ | ○ | ○ |
| 学校推薦型選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 調査書・推薦書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 私費外国人留学生選抜 | 日本留学試験 | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 成績証明書 | ○ | | |
| 帰国生選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 出願書類 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 社会人選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 出願書類 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 3年次編入学 | 学力試験 (専門科目、外国語) | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 成績証明書及び 志望理由書等 | ○ | ○ | |

[理学療法学専攻]

<人材育成の目標>

- 1 豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重し、全人的医療を担う人材を育成します。
- 2 本学科での学習を通して、学士（保健学）に求められる知識、技能、態度、創造的思考力を身に付けた人材を育成します。
- 3 将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を持ち、地域や国際社会での保健医療の諸課題に広く対応できる人材を育成します。
- 4 保健医療の現場においてチーム医療を担う人材を育成します。
- 5 理学療法士となることを通じて、高度化・専門化する保健医療専門職の次世代のリーダーや教育・研究者を育成します。

<入学者に求める能力・資質>

- 1 柔軟な発想、みずみずしい感性、高い意欲を持っていること。
- 2 他者とのコミュニケーションが円滑にできること。
- 3 理系課題に対して、論理的な思考を行い、他人に説明できること。
- 4 文系課題に対して、自らの考えを交えて要約して他人に説明できること。
- 5 英文課題に対して、自らの考えと併せて他人に説明できること。

<入学前に学習することが期待される内容>

- 1 各入学者選抜の出願要件に定める科目について履修又は履修見込みであること。

<入学者選抜の基本方針>

本学科では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

○一般選抜 前期日程

3～5に対しては大学入学共通テストを課し、1、3及び5に対しては小論文を課します。また、1及び2に対しては出願書類（調査書）により評価を行った上で、総合して判定します。

○一般選抜 後期日程

3～5に対しては大学入学共通テストを課し、1、3及び5に対しては小論文を課します。また、1及び2に対しては出願書類（調査書）により評価を行った上で、総合して判定します。

○学校推薦型選抜

1及び3～5に対しては小論文を、1及び2に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、推薦書）を加え、総合して判定します。

○私費外国人留学生選抜

日本語での大学教育を受けられる日本語能力を身に付けているかどうかを判断するために日本留学試験を課しています。また、1、3及び5に対しては小論文を、1及び2に対しては面接を課します。さらに、成績証明書を加え、総合して判定します。

○帰国生選抜

1及び3～5に対しては小論文を、1及び2に対しては面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。

○社会人選抜

1及び3～5に対しては小論文を、1及び2に対しては面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。

○3年次編入学

3～5に対しては学力試験（専門科目、外国語）を、1及び2に対しては面接を課します。また、出身学校の成績証明書及び志望理由書等を加え、総合して判定します。

<入学者選抜方法における重点評価項目>

該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|-----------|-----------|--------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 一般選抜 前期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 調査書 | ○ | ○ | ○ |
| 一般選抜 後期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 調査書 | ○ | ○ | ○ |

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|------------|--------------------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 学校推薦型選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 調査書・推薦書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 私費外国人留学生選抜 | 日本留学試験 | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 成績証明書 | ○ | | |
| 帰国生選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 出願書類 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 社会人選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 出願書類 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 3年次編入学 | 学力試験 (専門科目、外国語) | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 成績証明書及び 志望理由書等 | ○ | ○ | |

[作業療法学専攻]

- 1 豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重し、全人的医療を担う人材を育成します。
- 2 本学科での学習を通して、学士（保健学）に求められる知識、技能、態度、創造的思考力を身に付けた人材を育成します。
- 3 将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を持ち、地域や国際社会での保健医療の諸課題に広く対応できる人材を育成します。
- 4 保健医療の現場においてチーム医療を担う人材を育成します。
- 5 作業療法士となることを通じて、高度化・専門化する保健医療専門職の次世代のリーダーや教育・研究者を育成します。

<入学者に求める能力・資質>

- 1 柔軟な発想、みずみずしい感性、高い意欲を持っていること。
- 2 他者とのコミュニケーションが円滑にできること。
- 3 理系課題に対して、論理的な思考を行い、他人に説明できること。
- 4 文系課題に対して、自らの考えを交えて要約して他人に説明できること。
- 5 英文課題に対して、自らの考えと併せて他人に説明できること。

<入学前に学習することが期待される内容>

- 1 各入学者選抜の出願要件に定める科目について履修又は履修見込みであること。

<入学者選抜の基本方針>

本学科では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

○一般選抜 前期日程

3～5に対しては大学入学共通テストを課し、1、3及び5に対しては小論文を課します。また、1及び2に対しては出願書類（調査書）により評価を行った上で、総合して判定します。

○一般選抜 後期日程

3～5に対しては大学入学共通テストを課し、1、3及び5に対しては小論文を課します。また、1及び2に対しては出願書類（調査書）により評価を行った上で、総合して判定します。

○学校推薦型選抜

1及び3～5に対しては小論文を、1及び2に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、推薦書）を加え、総合して判定します。

○私費外国人留学生選抜

日本語での大学教育を受けられる日本語能力を身に付けているかどうかを判断するために日本留学試験を課しています。また、1、3及び5に対しては小論文を、1及び2に対しては面接を課します。さらに、成績証明書を加え、総合して判定します。

○帰国生選抜

1及び3～5に対しては小論文を、1及び2に対しては面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。

○社会人選抜

1及び3～5に対しては小論文を、1及び2に対しては面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。

○3年次編入学

3～5に対しては学力試験（専門科目、外国語）を、1及び2に対しては面接を課します。また、出身学校の成績証明書及び志望理由書等を加え、総合して判定します。

<入学者選抜方法における重点評価項目>

該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|------------|-----------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 一般選抜 前期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 調査書 | ○ | ○ | ○ |
| 一般選抜 後期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 調査書 | ○ | ○ | ○ |
| 学校推薦型選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 調査書・推薦書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 私費外国人留学生選抜 | 日本留学試験 | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 成績証明書 | ○ | | |

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|--------|--------------------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 帰国生選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 出願書類 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 社会人選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 出願書類 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 3年次編入学 | 学力試験 (専門科目、外国語) | ○ | ○ | |
| | 面接 | | ○ | ○ |
| | 成績証明書及び 志望理由書等 | ○ | ○ | |

必ずお読みください

理工学部

群馬大学の理念、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな地域社会・国際社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人

- 1 高等学校での学修内容についての総合的な理解と大学教育を受けるにふさわしい基礎学力がある。
- 2 理工学を学ぶ上で必要な基礎知識と強い探究心、コミュニケーション能力を持っている。
- 3 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている。
- 4 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある。
- 5 高い志と豊かな発想力を持ち、未来を切り開く夢と情熱を持っている。
- 6 地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップを持っている。

さらに、物質・環境類の教育プログラムを選択しようとする者は、特に理科に関心があることが望まれる。また、電子・機械類の教育プログラムを選択しようとする者は、物理学、数学及び化学に関心を持っていることが望まれる。

[物質・環境類]

<入学者に求める能力・資質>

群馬大学の理念、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな地域社会・国際社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人

- 1 高等学校での学修内容についての総合的な理解と大学教育を受けるにふさわしい基礎学力がある。
- 2 理工学を学ぶ上で必要な基礎知識と強い探究心、コミュニケーション能力を持っている。
- 3 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている。
- 4 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある。
- 5 高い志と豊かな発想力を持ち、未来を切り開く夢と情熱を持っている。
- 6 地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップを持っている。

さらに、特に理科に関心があることが望まれる。

<入学前に学習することが期待される内容>

数学については、数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、Bを履修していることが望ましい。理科については、物質・環境類では化学、物理あるいは生物を履修していることが望ましい。

<入学者選抜の基本方針>

本学部では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

○一般選抜 前期日程

1 に対しては大学入学共通テストを課し、1～3 に対しては学力試験を課します。また、4～6 及び「理科に関心があること」については調査書で評価します。

○一般選抜 後期日程

1 に対しては大学入学共通テストを課し、1～6 に対しては面接を課します。また、4～6 及び「理科に関心があること」については調査書で評価します。

○学校推薦型選抜

《一般枠》

1～6 及び「理科に関心があること」に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、推薦書等）を加え、総合して判定します。

《GFL 特別枠（一般枠との併願を含む）》

1～6 及び「理科に関心があること」に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、推薦書、志望理由書、英語外部検定試験の成績）を加え、総合して判定します。

○総合型選抜

1～6 及び「理科に関心があること」に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、志望理由書、自己推薦書）を加え、総合して判定します。

○私費外国人留学生選抜

日本語での大学教育を受けられる日本語能力を身につけているかどうかを判断するために日本留学試験を課しています。1～6 及び「理科に関心があること」に対しては面接を課します。さらに、英語外部検定試験の成績及び成績証明書を加え、総合して判定します。

○帰国生選抜

1～6 及び「理科に関心があること」に対しては面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。

○3 年次編入学

1～6 及び「理科に関心があること」に対しては面接を課します。また、出身学校の成績証明書及び人物調書を加え、総合して判定します。

<入学者選抜方法における重点評価項目>

該当する学力の3 要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3 要素」 | | |
|-----------|-----------------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 一般選抜 前期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 学力試験 | ○ | ○ | |
| | 調査書 | | | ○ |
| 一般選抜 後期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 総合型選抜 | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書・志望理由書・自己推薦書 | ○ | ○ | ○ |

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|------------|--|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 学校推薦型選抜 | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書・推薦書・志願理由書(※)・英語外部検定試験の成績(※) ※はGFL特別枠志願者及び併願で出願する者のみ | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 私費外国人留学生選抜 | 日本留学試験 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書 | ○ | | |
| | 英語外部検定試験の成績 | ○ | | |
| 帰国生選抜 | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 出願書類 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 3年次編入学 | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書及び人物調書 | ○ | ○ | ○ |

[電子・機械類]

<入学者に求める能力・資質>

群馬大学の理念、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな地域社会・国際社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人

- 1 高等学校での学修内容についての総合的な理解と大学教育を受けるにふさわしい基礎学力がある。
 - 2 理工学を学ぶ上で必要な基礎知識と強い探究心、コミュニケーション能力を持っている。
 - 3 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている。
 - 4 知的な好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある。
 - 5 高い志と豊かな発想力を持ち、未来を切り開く夢と情熱を持っている。
 - 6 地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップを持っている。
- さらに、物理学、数学及び化学に関心を持っていることが望まれる。

<入学前に学習することが期待される内容>

数学については、数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、Bを履修していることが望ましい。理科については、電子・機械類では物理あるいは化学を履修していることが望ましい。

<入学者選抜の基本方針>

本学部では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

○一般選抜 前期日程

1 に対しては大学入学共通テストを課し、1～3 に対しては学力試験を課します。ま

た、4～6及び「物理学・数学及び化学に関心を持っていること」については調査書で評価します。

○一般選抜 後期日程

1に対しては大学入学共通テストを課し、1～6に対しては面接を課します。また、4～6及び「物理学・数学及び化学に関心を持っていること」については調査書で評価します。

○学校推薦型選抜

《一般枠》

1～6及び「物理学・数学及び化学に関心を持っていること」に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、推薦書等）を加え、総合して判定します。

《GFL特別枠（一般枠との併願を含む）》

1～6及び「物理学・数学及び化学に関心を持っていること」に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書、英語外部検定試験の成績）を加え、総合して判定します。

○総合型選抜

1～6及び「物理学・数学及び化学に関心を持っていること」に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、志望理由書、自己推薦書）を加え、総合して判定します。

○私費外国人留学生選抜

日本語での大学教育を受けられる日本語能力を身につけているかどうかを判断するために日本留学試験を課しています。1～6及び「物理学・数学及び化学に関心を持っていること」に対しては面接を課します。さらに、英語外部検定試験の成績及び成績証明書を加え、総合して判定します。

○帰国生選抜

1～6及び「物理学・数学及び化学に関心を持っていること」に対しては面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。

○3年次編入学

1～6及び「物理学・数学及び化学に関心を持っていること」に対しては面接を課します。また、出身学校の成績証明書及び人物調書を加え、総合して判定します。

<入学者選抜方法における重点評価項目>

該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|-----------|-----------------|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 一般選抜 前期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 学力試験 | ○ | ○ | |
| | 調査書 | | | ○ |
| 一般選抜 後期日程 | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 総合型選抜 | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書・志望理由書・自己推薦書 | ○ | ○ | ○ |

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 該当する「学力の3要素」 | | |
|------------|--|---------------|-------------|------------|
| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 学校推薦型選抜 | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書・推薦書・志願理由書(※)・英語外部検定試験の成績(※) ※はGFL特別枠志願者及び併願で出願する者のみ | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 私費外国人留学生選抜 | 日本留学試験 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書 | ○ | | |
| | 英語外部検定試験の成績 | ○ | | |
| 帰国生選抜 | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 出願書類 | 面接時の参考資料として利用 | | |
| 3年次編入学 | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 成績証明書及び人物調書 | ○ | ○ | ○ |

1. 学校推薦型選抜を実施する学部・学科等及び募集人員

| 学 部 | 課 程 | 系 | 専 攻 | 募 集 人 員 |
|----------|------------|-----------|--------|---------|
| 共同教育学部 | 学校教育教員養成課程 | 人文社会系 | 国語専攻 | 5名 |
| | | | 社会専攻 | 4名 |
| | | 自然科学系 | 数学専攻 | 8名 |
| | | | 理科専攻 | 3名 |
| | | | 技術専攻 | 1名 |
| | | 芸術・生活・健康系 | 音楽専攻 | 4名 |
| | | | 美術専攻 | 2名 |
| | | | 保健体育専攻 | 3名 |
| | | 教育人間科学系 | 教育専攻 | 2名 |
| | | | 教育心理専攻 | 2名 |
| 特別支援教育専攻 | 5名 | | | |

(注)1 入学手続者が募集人員に満たない場合は、原則として、前期日程の募集人員に、この満たない人数を加えます。

(注)2 上記以外の専攻は実施しません。

| 学 部 | 学 科 | 募 集 人 員 |
|------|------|---------|
| 情報学部 | 情報学科 | 50名 |

(注)1 入学手続者が募集人員に満たない場合は、原則として、前期日程の募集人員に、この満たない人数を加えます。

(注)2 募集人員には、プログラム特別枠で最大で合計20名（各プログラム最大5名）及びGFL特別枠若干名を含みます。

| 学 部 | 学 科・専 攻 | [出願区分] | 募 集 人 員 | |
|-----|---------|----------|-------------|-----|
| 医学部 | 医 学 科 | [一般枠] | 25名 | |
| | | [地域医療枠] | 0名(12名)(注)2 | |
| | 保健学科 | 看護学専攻 | | 30名 |
| | | 検査技術科学専攻 | | 9名 |
| | | 理学療法学専攻 | | 8名 |
| | | 作業療法学専攻 | | 8名 |

(注)1 入学手続者が募集人員に満たない場合は、原則として、前期日程の募集人員に、この満たない人数を加えます。

(注)2 地域医療枠の募集人員については、医学部臨時定員増の認可申請中であり、申請が認められた場合、()内の募集人員となります。

| 学 部 | 類 | 募 集 人 員 |
|------|--------|---------|
| 理工学部 | 物質・環境類 | 90名 |
| | 電子・機械類 | 55名 |

(注)1 総合型選抜の入学手続者が募集人員に満たない場合は、原則として、学校推薦型選抜の募集人員に、この満たない人数を加えます。

(注)2 入学手続者が募集人員に満たない場合は、原則として、前期日程の募集人員に、この満たない人数を加えます。

(注)3 各類の募集人員にはGFL特別枠若干名を含みます。

2. 学校推薦型選抜の出願資格及び出願要件

次の出願資格のいずれかに該当し、かつ志望学部・学科・専攻の出願要件を満たす者とします。

〈出願資格〉

- ① 2023年3月31日までに高等学校又は中等教育学校を卒業見込みの者（2022年度中に卒業した者又は卒業見込みの者を含む。）
- ② 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月31日までに修了見込みの者（2022年度中に修了した者又は修了見込みの者を含む。）
- ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2022年度中に修了又は修了見込みの者

〈出願要件〉

出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者。

◎ 共同教育学部

(1) 国語専攻

次のいずれかに該当する者

- ① 学習成績概評がAの者
- ② 学習成績概評がB以上で、国語の評定平均値が4.3以上の者

(2) 社会専攻

次のいずれかに該当する者

- ① 学習成績概評がAの者
- ② 学習成績概評がB以上で、地理歴史及び公民の全履修科目の評定平均値が4.3以上の者

(3) 数学専攻

次の項目全てに該当する者

- ① 数Ⅱ、数Ⅲ、数Bを履修又は履修見込みの者
※ 専門教育に関する教科「理数」を履修の場合、数Ⅱ、数Ⅲ、数列、ベクトルの内容を履修又は履修見込みであることを調査書の備考欄に記入してください。
※ 国際バカロレア・ディプロマ・プログラム認定校においては、マセマティックスHLを履修している者又は履修見込みの者
- ② 学習成績概評がB以上で、数学の評定平均値が4.3以上の者

(4) 理科専攻

次のいずれかに該当する者

- ① 学習成績概評がAの者
- ② 学習成績概評がBかつ理科の評定平均値が4.1以上の者で、物理、化学、生物、地学のうち1科目以上を履修又は履修見込みの者
※ 国際バカロレア・ディプロマ・プログラム認定校においては、フィジックスHL、ケミストリーHL、バイオロジーHL、地学のうち1科目以上を履修した者又は履修見込みの者

(5) 技術専攻

次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校の工業に関する学科を卒業見込みの者
- ② 高等学校の総合学科において工業に関する科目を20単位以上履修し卒業見込みの者

(6) 音楽専攻

次のいずれかに該当する者

- ① 学習成績概評がB以上の者
- ② 音楽の評定平均値が4.0以上の者

(7) 美術専攻

次のいずれかに該当する者

- ① 学習成績概評がB以上で、美術又は工芸の評定平均値が4.0以上の者
- ② 学習成績概評がB以上で、美術及び工芸並びにこれらに類する科目（素描、絵画、彫刻、ビジュアルデザイン、クラフトデザインなど）について計10単位以上修得又は修得見込みで、その評定平均値が3.5以上の者

(8) 保健体育専攻

次の項目全てに該当する者

- ① 学習成績概評がB以上の者
- ② 下記のスポーツ種目において、ブロック大会（例：関東大会）レベル以上に出場した者
または前述の競技実績に相当する競技力を持つと学校長が判断する者
スポーツ種目：体操競技、陸上競技、水泳、球技（バスケットボール、サッカー、バレーボール）、ダンス、柔道
- ③ 大学入学後、当該種目を継続しようとする意志がある者

(9) 教育専攻

学習成績概評がB以上の者

(10) 教育心理専攻

学習成績概評がB以上の者

(11) 特別支援教育専攻

学習成績概評がB以上の者

◎ 情報学部

下記出願枠のいずれか又は、プログラム特別枠若しくはGFL特別枠を併願で出願することができ、合格者の判定は下記の出願枠それぞれで実施します。

なお、併願で出願した場合、プログラム特別枠又はGFL特別枠で合格とならなかった者は、一般枠で合格となる場合があります。

○ 一般枠

調査書の学習成績全体の評定平均値が3.8以上の者

○ プログラム特別枠

以下の各プログラム内の要件のいずれかに該当する者

A 人文情報プログラム

- 1 調査書の学習成績全体の評定平均値が3.8以上の者
- 2 学習成績概評がB（4.2～3.5）以上で、国語の評定平均値が4.3以上の者

B 社会共創プログラム

- 1 調査書の学習成績全体の評定平均値が3.8以上の者
- 2 学習成績概評がB（4.2～3.5）以上で、地歴・公民の評定平均値が4.3以上の者

C データサイエンスプログラム

- 1 調査書の学習成績全体の評定平均値が3.8以上の者
- 2 学習成績概評がB(4.2~3.5)以上で、数学の評定平均値が4.3以上の者
- 3 学習成績概評がB(4.2~3.5)以上で、次のi~iiiのいずれかを満たす者
 - i. 実用数学技能検定：準1級以上
 - ii. 統計検定：3級以上
 - iii. 情報処理技術者試験（どの試験区分でも可）の合格

D 計算機科学プログラム

- 1 調査書の学習成績全体の評定平均値が3.8以上の者
- 2 学習成績概評がB(4.2~3.5)以上で、数学の評定平均値が4.3以上の者
- 3 学習成績概評がB(4.2~3.5)以上で、次のi~iiiのいずれかを満たす者
 - i. 実用数学技能検定：準1級以上
 - ii. 統計検定：3級以上
 - iii. 情報処理技術者試験（どの試験区分でも可）の合格

なお、プログラム特別枠・一般枠併願で出願する場合、一般枠の出願要件も満たしている必要があります。

プログラム特別枠について

情報学部情報学科では、人文情報プログラム、社会共創プログラム、データサイエンスプログラム、計算機科学プログラムからなるプログラム制を採用しています。各学生は、それぞれの希望に応じて、2年次から配属するプログラムを選択することができます。プログラム特別枠は、入学当初から特定プログラムへの配属を強く希望する志願者、そして、各プログラムの特性に合う志願者の出願を促すためのもので、合格者は、出願したプログラムへの優先配属対象者となります。

なお、各プログラムの特徴は以下のとおりです。

(人文情報プログラム)

人文科学的知見を活用して高度情報化社会における課題を探索する能力を修得し、課題解決のための実践的理念を提供できる能力を養成します。

(社会共創プログラム)

高度情報化によるシステム（制度）の変化について、社会科学的知見を活用して課題を発見し、社会的課題の解決および社会目標の達成のためのシステム（制度）の構築や方策を提案できる能力を養成します。

(データサイエンスプログラム)

社会全体から集められるビッグデータを、情報システムを利用して収集する方法を設計し、集まったデータから、目的とする価値に適合した解決策を導く能力を養成します。

(計算機科学プログラム)

計算機や情報ネットワークをその数理的原理から理解することで、進歩の速い情報技術をフォローアップできる能力を持ち、人工知能や各種情報システムを研究開発できる能力を養成します。

○ GFL 特別枠

次のいずれかに該当する者

- 1 調査書の学習成績全体の評定平均値が3.8以上の者
- 2 学習成績概評がB(4.2~3.5)以上で、英語の評定平均値が4.3以上の者
- 3 学習成績概評がB(4.2~3.5)以上で、次のi~ivのいずれかを取得している者
 - i. 実用英語技能検定(英検): 2級以上
 - ii. TOEIC Listening&Reading Test: 550点以上(団体向けのTOEIC-IPは認めるが、IPテスト(オンライン)は除く)
 - iii. TOEFL-iBT: 42点以上(Home Editionは除く)
 - iv. GTEC(4技能)(有効期間内のOFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る): 1105点以上

なお、GFL特別枠・一般枠併願で出願する場合、一般枠の出願要件も満たしている必要があります。

— グローバルフロンティアリーダー(GFL)育成プログラムについて —

群馬大学では、本学の学生が「自国及び他国の文化・歴史・伝統を理解し、外国語によるコミュニケーション能力を持ち、国内外において主体的に活動できる人」となるよう、グローバルフロンティアリーダーの育成に力を入れています。その一環として、グローバルフロンティアリーダー(GFL)育成プログラムを設置し、日本語能力・国際理解を含む幅広い教養・外国語コミュニケーション能力の修得を中心とした教育を行うとともに、海外留学の経験を通して広い視野を持つ学生を育てます。

グローバルフロンティアリーダー(GFL)育成プログラムに所属するメリット

- (1) GFL生限定の留学プログラム
- (2) 留学費用の補助として返済不要の奨励金支給(対象留学プログラムに参加した場合)
- (3) 外国人教員による英語学習特別プログラム
- (4) インターネット環境・パソコン・各種教材を備えたGFL室の利用
- (5) 4年次前期終了時に大学院に進学できる早期卒業制度を理工学部で実施

※グローバルフロンティアリーダー(GFL)育成プログラムの詳細は、ホームページをご参照ください。

>>群馬大学グローバルフロンティアリーダー(GFL)育成プログラムホームページ

URL: <https://gfl.jimu.gunma-u.ac.jp/>



◎ 医学部

(I) 医学科

次の①及び②全てに該当する者

① 出身学校における調査書類、学習成績、適性評価等に優れ、かつ、調査書の学習成績概評がA段階に属し、人物も優れている者

※ ①に該当する者については、調査書に①と表示してください。

② 出身学校において、数学については、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A及び数学Bのうち2科目以上、理科については、物理、化学及び生物のうち2科目以上を履修又は履修見込みの者

※ 国際バカロレア・ディプロマ・プログラム認定校においては、数学についてはマセマティックスSL又はマセマティックスHLのいずれか、理科についてはフィジクスHL、ケミストリーHL、バイオロジーHLのうち2科目以上を履修又は履修見込みの者

上記①及び②の要件を満たし、群馬県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち、群馬県からの修学資金の貸与を希望する者は地域医療枠の出願が必要です。

なお、地域医療枠で出願する者は、出願資格のほか、「群馬県緊急医師確保修学資金制度について（学校推薦型選抜）」に記載する対象者要件に該当しなければなりません。

合格者の判定はそれぞれの出願区分の基準により実施します。

○ 一般枠

医師や医学研究者等を目指す一般的な選抜枠で、群馬県からの修学資金貸与を希望しない場合の出願区分です。

○ 地域医療枠

群馬県の将来の医療を担うという強い意志を持ち、群馬県からの修学資金貸与を希望する場合の出願区分です。なお、入学後、地域医療枠を辞退することは、出願要件の趣旨に反することから、理由の如何を問わず認めません。

また、合格判定の結果、合格とならなかった場合、一般枠にて再度合格者の判定を行います。

- 群馬県の修学資金貸与制度の概要は、下記の「群馬県緊急医師確保修学資金貸与制度について（学校推薦型選抜）」を参照してください。
- 地域医療枠合格者は、群馬大学医学部や群馬県等が企画する県内医療に関する特別プログラムに参加します。
- 地域医療枠合格者は、卒業後10年間は、群馬大学医学部附属病院を含む群馬県内の特定病院の中から選択し、臨床研修及び診療業務に当たります。医師としての柔軟なキャリア形成が可能です。後出のキャリアモデルを参考にしてください。

1 対象者要件

「出願資格」（39ページ）及び「出願要件」（43ページ）に該当する者であって、次のいずれかに該当するもの

- (1) 群馬県に所在する高等学校又は中等教育学校を卒業見込みの者
- (2) 群馬県に所在する通常の課程による12年の学校教育を修了見込みの者
- (3) 上記(1)及び(2)以外の者であって、次のいずれかに該当するもの
 - ① 出願時の住所が群馬県内にある者
 - ② 出願時に父母、祖父母又は配偶者のうち、いずれかの者の住所が群馬県内にある者
 - ③ 出願時の本籍が群馬県内にある者

2 提出書類

「4出願手続(7)提出が必要な出願書類等」（53～54ページ）に示す出願書類のほか、次の書類をあわせて提出すること。

なお、(1)～(3)の書類にあっては、上記1(1)又は(2)に該当する者は除きます。

- (1) [1(3)①に該当する者] 住民票の写し
- (2) [1(3)②に該当する者] 父母、祖父母又は配偶者の住民票の写し及び出願者との関係がわかるもので次のいずれか一つ。
 - ・住民票の写し（続柄が記載されているもの）
 - ・出願者の出身高等学校等が発行する証明書（任意様式・学校長の証明印があるもの）
 - ・健康保険証の写し（続柄が記載されているもの）
 - ・市(区)役所、町村役場が発行するもので関係がわかるもの
- (3) [1(3)③に該当する者] 市(区)役所、町村役場が発行するもので本籍が証明できるもの
※住民票の写しは、出願日前3ヶ月以内に発行されたもので、個人番号（マイナンバー）が記載されていないものとします。
- (4) [全員] 所定の様式に本人及び保護者（又は法定代理人）が署名、押印した同意書

3 貸与期間

6年間

4 修学資金貸与額（予定）

原則月額 10万円（ただし、本人及び生計を一にする者の所得額の合計が1,500万円未満の場合は15万円）

※「生計を一にする者」とは、主に、次に掲げる者

- ・修学資金の貸与を受けようとする者と同一世帯の父母
- ・修学資金の貸与を受けようとする者の所得税法(昭和40年法律第33号)第2条第1項第33号に規定する同一生計配偶者
- ・その他、これらに類する者と知事が認める者

※初年度は、入学金相当額が加算されて貸与されます。

5 貸与条件

- (1) 群馬県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち、卒業後、県内の特定病院に

において、貸与期間の3分の5に相当する期間（10年間＝従事必要期間）、卒後臨床研修及び診療業務に従事すること。

- (2) 従事必要期間（10年間）のうち、臨床研修修了後の4年間以上は、群馬県保健医療計画に明記される医師不足地域の特定病院又は特に不足する診療科のうちから被貸与者の意見を聴取の上、群馬県知事が指定する特定病院又は診療科に勤務すること。ただし、へき地医療拠点病院又はへき地診療所に勤務する場合は3年間以上とする。
- (3) 従事必要期間（10年間）は、群馬県地域医療支援センターが用意する「ぐんま地域医療リーダー養成キャリアパス」に参加すること。

[補足]

- ・「医師不足地域」、「特に不足する診療科」は、将来、勤務することとなる時点の保健医療計画に明記されます。
- ・貸与期間中に修学資金貸与を辞退することは、原則として認めません。
また、留年した場合は、当該留年に係る期間は貸与を受けることができません。

6 返還

卒業後、県内の特定病院において、従事必要期間（10年間）、卒後臨床研修及び診療業務に従事した場合は、修学資金の返還が全額免除されます。

しかし、次のような場合は、貸与期間に年10%の割合で計算した利息を加算して、貸与した修学資金を返還することが必要です。

- ・貸与条件を満たさないこととなった場合（ただし、特定病院における在職期間に応じて、返還が一部免除になります。）
- ・卒業の翌年までの医師国家試験に合格できなかった場合
- ・卒業後、県内の特定病院で臨床研修に従事しなかった場合

7 貸与手続

入試合格後、群馬県による意思確認の面接を経て、群馬県との間で貸与手続（貸与申請書の提出、貸与契約書の締結等）を行います。その際、連帯保証人2名が必要です。

※詳細は別途案内します。

なお、修学資金は、二月ごとにその期間分を貸与する予定です。

《制度の特色》

群馬県による本制度には下記のような特色がありますので、卒後臨床研修先の選定や、その後の診療業務、大学院進学、留学、研修等について、柔軟に計画することが可能となります。

- ① 卒業後に従事する特定病院は、被貸与者が選択することができます。
ただし、「5 貸与条件」(2) に示す特定病院又は診療科は被貸与者の意見を聴取の上、群馬県知事が指定する特定病院又は診療科になります。
- ② 群馬県地域医療支援センターが用意する「ぐんま地域医療リーダー養成キャリアパス」により、卒業後10年間のキャリア形成を支援します。キャリアパスは、地域間・病院間ローテーションにより、キャリアアップと地域医療への貢献を實踐できるものです。
- ③ 卒業後、従事必要期間（10年間）は県内の特定病院での従事が必要となりますが、次のようなケースは返還義務中断期間として認められます。
 - i) 疾病・災害で業務に従事できなかった期間
 - ii) 産休・育児休業した期間
 - iii) 大学院（医学を履修する課程に限る）に在学した期間→5年まで可

- iv) 外国の大学・大学院、医療機関、研究施設等において医学研修等に従事した期間→5年まで可
- v) 特定病院で実施する専門研修のプログラムの一環として特定病院以外の病院に勤務した期間→3年まで可
- vi) 県の医療水準向上に資する専門知識習得のため特定病院以外の病院に勤務した期間→3年まで可

《特定病院について》

「県内の特定病院」には、群馬大学医学部附属病院のほか、次の病院が予定されています。いずれも公的な側面が強い地域の中核的な病院です。これらの病院の医師不足解消も大きな目的の一つです。

群馬県立心臓血管センター、群馬県立がんセンター、群馬県立精神医療センター、群馬県立小児医療センター、前橋赤十字病院、独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院、群馬県済生会前橋病院、独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター、医療法人社団日高会日高病院、公立碓氷病院、独立行政法人国立病院機構渋川医療センター、公立藤岡総合病院、藤岡市国民健康保険鬼石病院、下仁田厚生病院、公立富岡総合病院、公立七日市病院、吾妻広域町村圏振興整備組合立中之条病院、原町赤十字病院、西吾妻福祉病院、独立行政法人国立病院機構沼田病院、利根中央病院、伊勢崎市民病院、桐生厚生総合病院、SUBARU健康保険組合太田記念病院、公立館林厚生病院

以上のほか、協力型臨床研修病院、へき地診療所、二次救急輪番病院。

《その他》

地域医療枠への出願に当たっては、「地域医療枠受験希望者向け説明動画」（群馬大学・群馬県作成）を必ず視聴し、制度を十分御理解ください。

説明動画を視聴する場合は、ぐんま電子申請受付システム (https://s-kantan.jp/pref-gunma-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=4990) から必要事項を入力し、お申込みください。動画配信後、視聴用URLを御案内します。

《修学資金貸与制度に関する問合せ先》

群馬県庁 健康福祉部医務課 医師確保対策室 電話：027-226-2540（直通）

(2) 保 健 学 科

次の項目全てに該当する者

- ① 出身学校における学習成績及び人物に優れ、調査書の学習成績の全体の評定平均値が3.8以上の者
 - ② 出身学校において、数学については、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A及び数学Bのうち2科目以上、理科については、物理、化学及び生物のうち2科目以上を履修又は履修見込みの者
- ※ 国際バカロレア・ディプロマ・プログラム認定校においては、数学についてはマセマティックスSL又はマセマティックスHLのいずれか、理科についてはフィジクスHL、ケミストリーHL、バイオロジーHLのうち2科目以上を履修又は履修見込みの者

◎ 理 工 学 部

出身学校における成績及び人物に優れている者

上記の要件を満たし、GFLプログラムを希望する者は、出願資格のほか、GFL特別枠志願理由書及び英語外部検定試験の成績の提出が必要です。下記出願枠のいずれか又は、GFL特別枠と一般枠併願で出願することができ、合格者の判定は下記の出願枠それぞれで実施します。なお、GFL特別枠・一般枠併願で出願した場合は、GFL特別枠で合格とならなかった者は、一般枠で合格となる場合があります。

○ 一 般 枠

理工学部を目指す一般的な選抜枠です。

○ G F L 特別枠

グローバル社会においてリーダーとなって活躍できる人材の育成を目指すグローバルフロンティアリーダー(GFL)プログラムへの所属を希望する出願区分です。GFL特別枠での合格者は、本学の「卓越学生に対する授業料免除制度」の優先適用の対象者となるとともに、1年次前期からGFLプログラムに所属し、短期海外研修などの活動に参加することになります。(GFLプログラムについては42ページを参照。)

なお、GFL特別枠の合格者は、学部在籍中の4年間はGFLプログラムの活動を継続することが望まれます。

出願書類として、一般枠の出願書類に加えて、以下を提出してください。

- ・GFL特別枠志願理由書 (A4用紙2枚程度)
- ・英語外部検定試験の成績 (GTEC (4技能) (OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る)、TOEFL-iBT、TOEIC Listening & Reading Test、英検、IELTS、TEAP) のうち1つ以上

3. 推薦人員

◎ 共同教育学部

- (1) 国語、社会、数学、理科、技術、音楽、美術、教育、教育心理、特別支援教育専攻
特に制限をしません。
- (2) 保健体育専攻
出身学校1校につき、1名とします。

◎ 情報学部

特に制限をしません。

◎ 医学部

- (1) 医学科
出身学校1校につき、一般枠及び地域医療枠を合わせて5名以内とします。
- (2) 保健学科
特に制限をしません。

◎ 理工学部

特に制限をしません。

4. 出願手続

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）に出願することができるのは、一つの大学・学部に限ります。

(1) 出願方法

インターネット出願

- | | | |
|--|---|---------------------|
| <ol style="list-style-type: none">① インターネットにより、志望情報等を入力する。② 入学検定料を支払う。③ 調査書等の提出が必要な出願書類等を郵送する。 | } | ①、②、③のすべての手続きを行います。 |
|--|---|---------------------|

＜出願＞

1. インターネット出願は、インターネットでの入力及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願手続き完了にはなりません。以下の期間内に必要な出願書類等が到着するように、簡易書留速達で郵送する必要があります。
2. インターネット出願ページでの志願者情報登録後、48時間以内に入学検定料を支払う必要があります。（ただし、11月7日（月）17時までとなります。）
3. 上記1. 及び2. を考慮し、早めにインターネット出願を行ってください。

※ 障害がある等でインターネット出願の利用が難しい方は、下記へ相談してください。
群馬大学学務部学生受入課入学試験係 電話 027-220-7150

(2) 出願期間および入学検定料納入期間

| 事項 | 期間 |
|----------------------|-------------------------------------|
| インターネット入力及び入学検定料の支払 | 2022年10月19日(水)9時から 11月7日(月)17時まで |
| 出願期間(提出が必要な出願書類等の郵送) | 2022年11月1日(火)から 11月7日(月)まで(必着) |

注意事項

出願書類等(出願確認票、写真票、調査書等)の提出は、必ず簡易書留速達で郵送してください。簡易書留速達以外で郵送した場合、事故があっても本学ではその責任は負いません。

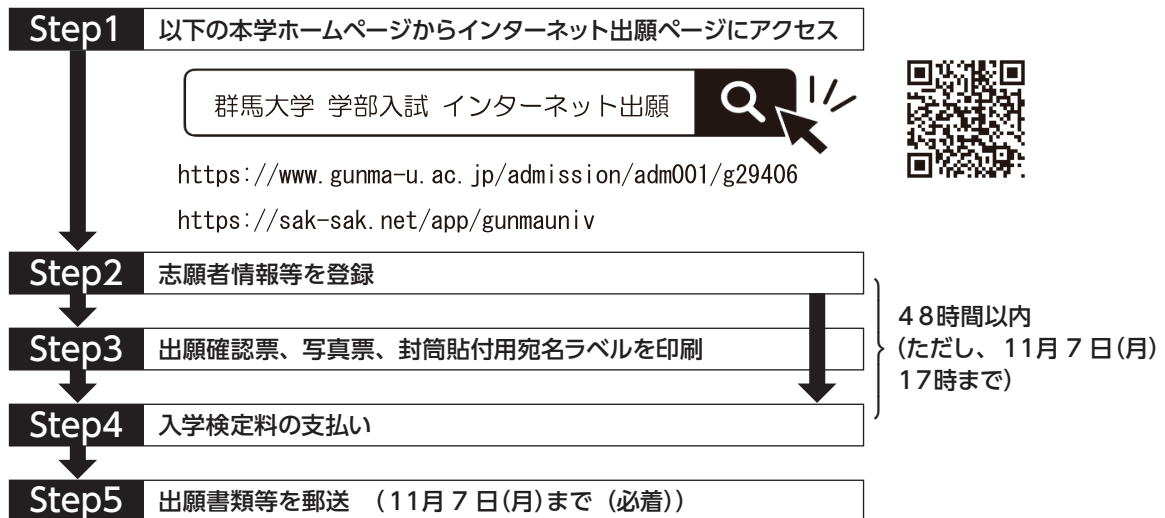
出願書類等は、2022年11月7日(月)までに必ず届くよう、郵送期間を十分考慮のうえ、発送してください。

ただし、出願期間後(11月8日(火)以降)に到着した場合でも、11月7日(月)までの(11月7日(月)を含む)発信局消印がある「簡易書留速達」に限り受理します。

なお、特別な事情がある場合については、2022年10月31日(月)17時15分までに下記へ連絡してください。

群馬大学学務部学生受入課入学試験係 電話 027-220-7150

(3) インターネット出願の流れ・アクセス方法



※メール受信設定でドメイン設定を行っている場合はメールが届かないことがありますので、ドメイン(@sak-sak.net)を受信指定してください。

(4) 入学検定料支払の方法

入学検定料：17,000円

インターネット出願ページで選択・入力した支払方法により、支払手続きを行ってください。出願登録時から48時間以内に支払う必要があります。(ただし、11月7日(月)17時まで)

入学検定料の他に別途必要な事務手数料は、志願者負担となります。

検定料免除を申請する場合は、支払方法選択画面で「検定料免除」を選択してください。なお、検定料の免除については52・53ページを参照してください。

◆現金でのお支払い方法 – コンビニエンスストア –

ローソン



Loppi△

1. Loppiのトップ画面左の「各種番号をお持ちの方」を押してください。
2. お支払い受付番号(6桁)を入力し、次へボタンを押してください。
3. 電話番号等を案内にしたがって入力してください。
4. お申込み内容の確認画面で内容をご確認いただいた後、確定するを押してください。
5. 申込券が出力されますので、30分以内にレジでお支払いください。

ファミリーマート



Famiポート△

1. Famiポートのトップ画面にある「代金支払い」を押してください。
2. 代金支払い一覧の「各種番号をお持ちの方はこちら」を押してください。
3. ご案内画面の「番号入力画面に進む」を押してください。
4. お支払い受付番号を入力し、OKボタンを押してください。
5. 電話番号等を案内にしたがって入力してください。
6. お申込み内容の確認画面で内容をご確認いただいた後、OKボタンを押してください。
7. 申込券が出力されますので、30分以内にレジでお支払いください。

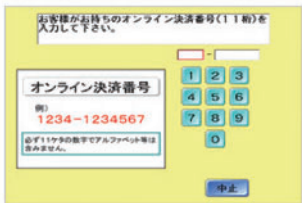
セブン-イレブン



レジ△

1. セブン-イレブン代金収納サービス払込票URLから「インターネットショッピング払込票」を印刷するか、払込票番号を控えて、お近くのセブン-イレブンのレジへ。
2. 「インターネットショッピング払込票」を従業員に手渡すか、「インターネット決済」であることを告げ、払込票番号を伝え、お支払いください。

デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア



レジ△

1. オンライン決済番号が表示された画面を印刷するか、オンライン決済番号を控えて、お近くのデイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストアのレジへ。
2. 店員に、印刷した用紙を手渡すか、「オンライン決済」であることを告げてください。
3. レジの画面にオンライン決済番号を入力してください。
4. 内容をご確認いただいた後、確定ボタンを押していただき、代金をお支払いください。

ミニストップ



Loppi△

1. Loppiのトップ画面左の「各種番号をお持ちの方」を押してください。
2. お支払い受付番号(6桁)を入力し、次へボタンを押してください。
3. 電話番号等を案内にしたがって入力してください。
4. お申込み内容の確認画面で内容をご確認いただいた後、確定ボタンを押してください。
5. 申込券が出力されますので、30分以内にレジでお支払いください。

セイコーマート

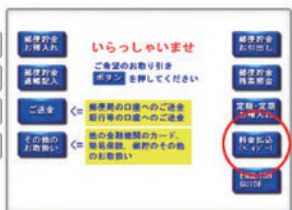


クラブステーション△

1. クラブステーションのトップ画面左下の「インターネット受付」を押してください。
2. お支払い受付番号を入力し、次へすすむボタンを押してください。
3. 電話番号を案内にしたがって入力してください。
4. お申込み内容の確認画面で内容をご確認いただいた後、印刷ボタンを押してください。
5. 決済サービス払込取扱票・払込票兼受領証・領収書の3枚が出力されますので、レジでお支払いください。

◆現金でのお支払い方法 – 銀行 –

ゆうちょ銀行/郵便局ATMでお支払い



ゆうちょ銀行/郵便局ATMへ

1. 料金払込(ペイジー)ボタンを押してください。
2. 次に表示される画面で、手入力ボタンを押してください。
3. 収納機関番号画面で「収納機関番号」を入力してください。
4. お客様番号画面でインターネット出願登録時の「電話番号」を入力してください。
5. 確認番号画面で「確認番号」を入力してください。
6. 確認画面で入力した内容をご確認いただいた後、確認ボタンを押してください。
7. 振込内容をご確認いただいた後、確認ボタンを押してください。
8. お支払い方法（現金または通帳・カード）を選択してください。
9. お支払い方法別の案内にしたがって、支払いを行ってください。
10. 明細表をお取りください。

各金融機関のATMでお支払い



※例.みずほ銀行のATM

金融機関のATMへ ※みずほ銀行の場合

1. 税金・料金払込ボタンを押してください。
2. 収納機関番号画面で「収納機関番号」を入力してください。
3. お客様番号画面でインターネット出願登録時の「電話番号」を入力してください。
4. 確認番号画面で「確認番号」を入力してください。
5. 確認画面で入力した内容をご確認いただいた後、確認ボタンを押してください。
6. お支払い方法（現金またはキャッシュカード）を選択してください。
7. お支払い方法別の案内にしたがって、支払いを行ってください。
8. 明細表をお取りください。

(5) 入学検定料の返還について

既納の検定料は原則として返還しません。

ただし、検定料を振り込み後、本学に出願しなかった場合又は書類の不備等により受理されなかった場合、あるいは重複振り込み等所定の金額より多く振り込んだ場合は、下記手続により返還します。

返還に当たっては便せん等を用い、次のア～オを明記した検定料返還申出書を作成して群馬大学財務部経理課へ郵送してください。

群馬大学学校推薦型選抜検定料返還申出書
 ア 返還申出の理由
 イ 氏名（フリガナ）
 ウ 郵便番号、現住所
 エ 連絡電話番号
 オ 志望学部

返還申出書送付先

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2

群馬大学財務部経理課収入係 電話027-220-7062

返還される金額は、振込手数料を差し引いた金額となります。

(6) 入学検定料の免除について

東日本大震災及び風水害等の災害に罹災した志願者については、特別措置として検定料の全額を免除します。

【検定料の免除の対象者】

1. 東日本大震災に係る特別措置

(1) 東日本大震災における災害救助法が適用されている地域で罹災した志願者で、以下のいずれかに該当する者

- ① 学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した者
- ② 学資負担者が死亡又は行方不明の者

(2) 学資負担者の居住地が、福島第一原子力発電所で発生した事故により、警戒区域、計画的避難区域、帰還困難区域、居住制限区域及び避難指示解除準備区域に指定された者

2. 風水害等の災害に係る特別措置

(1) 出願期限の日から前1年以内に発生した風水害等の災害において、災害救助法が適用されている地域で罹災した志願者で、以下のいずれかに該当する者

- ① 学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した者
- ② 学資負担者が死亡又は行方不明の者

(2) 本学が指定する風水害等の災害における「災害救助法適用地域」については、本学ホームページ（入試情報＞学費・奨学金）を御確認ください。

上記に該当される方は、当該「検定料免除申請書」を本学ホームページ（入試情報＞学費・奨学金）からダウンロードし、関係書類を添え出願書類に同封して申請してください。書類の提出に関する問合せ等は、平日8時30分から17時15分の間に学務部学生受入課[電話027-220-7149]まで連絡してください。URL:(<https://www.gunma-u.ac.jp/>)

また、インターネット出願での入力の際は、支払方法選択画面で「検定料免除」を選択してください。

(7) 提出が必要な出願書類等

提出封筒を準備して、次に掲げる書類等を提出してください。

なお、**出願書類等に不足等がある場合、出願を受け付けることができませんので、注意してください。**

| 出願書類等 | 対象者 | 摘 要 |
|-------------------|-----------------------------------|---|
| ①出願確認票 | 志願者全員 | インターネット出願ページの出願登録完了画面からA4サイズで印刷してください。 |
| ②写真票 | | インターネット出願ページの出願登録完了画面からA4サイズで印刷してください。なお、以下の点に留意して提出ください。 【写真】 上半身脱帽正面向きで出願前3ヶ月以内に単身で撮影した写真1枚（縦4cm×横3cm）を写真貼付欄に貼り付けてください。 |
| ③推薦書 | | 様式1 各出身学校長が作成し、厳封したもの。 |
| ④高校在学中の活動歴を証明する書類 | | 高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「特記事項」欄に記入し、活動歴を証明する書類を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。 (活動歴の例) 英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学経験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など。 |
| ⑤活動報告書 | 志願者全員（ただし、④で示す活動歴を証明する書類提出が出来ない者） | 高校在学中の「活動」があり、新型コロナウイルス感染拡大に伴う各種の大会等の中止・延期等により、④で示す活動歴を証明する書類提出が出来ない場合、推薦書の「特記事項」欄に記入し、様式2 活動報告書を提出してください。 |
| ⑥調査書 | 志願者全員 | 所定の様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。 ※1 出身学校の事情（廃校及び被災等を含む）により、出身学校長の調査書が得られない場合は、卒業証明書、成績通知表（成績通信簿）及びその他入学志願者が提出できる書類を、調査書に代えて提出してください。 ※2 本人が被災等により※1の書類も整えられない場合は、出身学校を所管する教育委員会、知事又は出身学校長が作成したこの内容を証明できる書類を提出してください。 |

| 出願書類等 | 対象者 | 摘 要 |
|--|--|--|
| ⑦適正資質調査書 | 医学部医学科志願者 | 様式3 各出身学校の指導教諭等が作成し、厳封したもの。 |
| ⑧志願理由書 | 共同教育学部志願者、情報学部「一般枠」志願者、理工学部「GFL特別枠」志願者 | 様式4 志願者本人が自筆したもの。 |
| | 情報学部「プログラム特別枠」・「GFL特別枠」(単願・併願)志願者 | 様式5 志願者本人が自筆したもの。 |
| | 医学部医学科「地域医療枠」志願者 | 様式6 志願者本人が自筆したもの。 |
| ⑨実技試験に関する届出用紙 | 共同教育学部音楽専攻志願者 | 様式7 志願者本人が自筆したもの。 |
| ⑩作品制作証明書及び美術活動調査書 | 共同教育学部美術専攻志願者 | 様式8、9 以下のとおり作成し、まとめて角形3号封筒に入れ、厳封したもの。 (様式8) 作品制作証明書は、志願者本人が出身学校在籍中に制作した作品の写真(1作品につき写真1枚)を作品写真貼付欄に貼り付け、必要事項を記入する。 ・5点以内とする。 ・作品の分野は問わない。 ・裏面の特記事項等は、記載責任者(※)が記入する。 (様式9) 美術活動調査書は、作品制作証明書を基に出身学校長が作成する。 ※ 記載責任者になれる者は、志願者が在籍する出身学校で美術又は工芸の授業を担当している者。 |
| ⑪入選・入賞を確認できる資料等 | 共同教育学部美術専攻志願者 | 特に様式は指定せず、コピーでもよいが、「作品制作証明書」の内容を確認できるもの。 |
| ⑫スポーツ活動調査書 | 共同教育学部保健体育専攻志願者 | 様式10 各出身学校長が作成し、厳封したもの。 |
| ⑬競技成績を確認できる資料等 | 共同教育学部保健体育専攻志願者 | 特に様式は指定せず、コピーでもよいが、「スポーツ活動調査書」の内容を確認できるもの。 |
| ⑭資格検定の証明書 | 情報学部「プログラム特別枠」及び「GFL特別枠」志願者のうち該当者 | 情報学部「プログラム特別枠」志願者のうち出願要件C3 i～iiiとD3 i～iii(41ページ)のいずれかで出願する者又は「GFL特別枠」志願者のうち出願要件3 i～iv(42ページ)のいずれかで出願する者は、出願要件の級・点数以上を取得したことを示す成績証明書の原本または合格を証明する書類の原本を提出してください。(原本は受験時に返却します。) |
| ⑮「群馬県緊急医師確保修学資金貸与制度について(学校推薦型選抜)」に示す書類 | 医学部医学科「地域医療枠」志願者のうち該当者 | 医学部医学科「地域医療枠」で出願する志願者のうち、「群馬県緊急医師確保修学資金貸与制度について(学校推薦型選抜)」(44～46ページ)の「1対象者要件」(3)に該当する者は、同ページ「2 提出書類」に示す書類を提出してください。 |
| ⑯同意書 | 医学部医学科「地域医療枠」志願者 | 様式11 志願者本人及び保護者(又は法定代理人)が署名、押印したもの。 |
| ⑰令和5共通テスト成績請求票(推薦国公立推薦型選抜用) | 医学部医学科志願者 | 出願時に提出することはできないため、12月中旬に大学入試センターから届き次第、「様式12大学入学共通テスト成績請求票貼付台紙」に貼り付けし、12月21日(水)までに簡易書留により郵送してください。 |
| ⑱英語外部検定試験の成績 | 理工学部「GFL特別枠」志願者 | GTEC(4技能)(OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る)、TOEFL-iBT、TOEIC Listening & Reading Test、英検、IELTS、TEAPのうち1つ以上の成績又はスコア(コピー可)。 ※英語外部検定試験の成績は、出願書類④「高校在学中の活動歴を証明する書類」として提出することも可能ですが、一つの成績につき、1点(提出物)として数えますので、ご注意ください。 |

注意事項

- 1 出願書類の※印欄は、記入しないでください。
- 2 出願書類に不備がある場合は受理しないことがあります。
- 3 受理された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。また、いかなる理由があっても変更は認めません。
- 4 出願書類に虚偽があった場合及び特別な事情がある場合は、合格を取り消すことがあります。

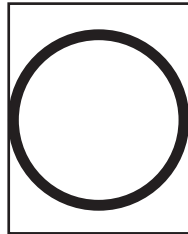
(8) 提出が必要な出願書類等の提出先及び提出方法

① 提出封筒の準備

封筒及び必要書類を用意し、提出してください。

ア. 必ず、角形2号封筒（横24cm×縦33.2cmでA4サイズの書類を折らずに入れることができる封筒）を使用してください。

長形3号定型封筒（横12cm×縦23.5cm）は使用できません。



角形2号封筒
(A4の書類を折らずにいれることができる封筒)



長形3号定型封筒

イ. 出願登録完了画面から「封筒貼付用宛名ラベル」を印刷し、アの封筒の表（宛名）面に貼付してください。

② 提出が必要な出願書類等の封入

53ページの4.(7)提出が必要な出願書類等を確認し、必要な書類等を封入してください。

③ 簡易書留速達郵便で送付

50ページの4.(2)出願期間および入学検定料納入期間の「出願期間（提出が必要な出願書類等の郵送）」の郵送期間内に必ず到着するよう、**簡易書留速達郵便**で志願者により郵送してください。

(9) 問合せ先

受験に関する質問等は、下記へ問合せください。

群馬大学学務部学生受入課入学試験係 電話 027-220-7150

2023年度 群馬大学 写真票 出願受付番号：9999-999999

2023年度 群馬大学 写真票
学校推薦型選抜

※印刷は、記入しないで行ってください。
※
受験番号

[写真貼付欄]
○写真は、山梨県S
大の推薦型選抜
に提出する
(Name Stamp)を
Oの位置に貼付
してください。

| | | | |
|--------|------------------------|-----|---|
| 志願先 | 共同教育学部教養人間科学系 特別支援教育専攻 | | |
| 氏名(カナ) | グンマ | タロウ | |
| 氏名 | 群馬 | 太郎 | 男 |

5. 受験票について

インターネット出願により登録した内容と、本学に届いた出願書類の内容が確認され、出願が受理されると、11月10日(木)から11日(金)の間にその旨をメールでお知らせすると同時に受験票PDFの印刷が可能になります。再度、インターネット出願ページにアクセスし、受験票PDFを白色のA4用紙で印刷し、**当日必ず持参してください。本学からの受験票の送付はありません。**

※ 受験票PDFを印刷したら、受験者氏名等が出願した内容と相違ないか確認してください。**万一記載に誤りがある場合や、11月11日(金)を過ぎても印刷できない場合には、下記まで連絡をしてください。**

群馬大学学務部学生受入課入学試験係 電話 027-220-7150

6. 選抜方法

出身学校長（高等学校長等）から推薦された者に対して、選考を行い合格者を決定します。

◎ 共同教育学部

選考は、面接・小論文・実技試験及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（志願者本人が自筆したもの））を総合して判定します。

試験等

○は課す ×は課さない

| 専攻 | 面接 | 小論文 | 実技試験 | 備考 |
|----------|---|-----|------|--|
| 国語専攻 | ○ 集団面接／約25分／面接員複数／基本的な国語の知識を問うことを含む | ○ | × | |
| 社会専攻 | ○ 集団面接／約30分／面接員複数 | ○ | × | |
| 数学専攻 | ○ 集団面接／20～30分／面接員複数／基本的な数学の知識を問うことを含む | ○ | × | 主に数学的思考力を問う。数学的思考力には数Ⅲの内容を含む。 |
| 理科専攻 | ○ 集団面接／30～40分／面接員複数／理科の専門的知識を問うこともある | ○ | × | |
| 技術専攻 | ○ 集団面接／約30分／面接員複数／基本的な技術の知識を問うことを含む | ○ | × | |
| 音楽専攻 | ○ 集団面接／20～30分／面接員複数／基本的な音楽の知識を問うことを含む | × | ○ | 70・71ページ「14. 別記」参照 「様式7 実技試験に関する届出用紙」を出願書類と一緒に提出してください。 |
| 美術専攻 | ○ 集団面接／25～30分／面接員複数 | × | ○ | 71ページ「14. 別記」参照 「様式8 作品制作証明書」に作品写真を貼り付け、必要事項を記入し、「様式9 美術活動調査書」とともに出願書類と一緒に提出してください。 作品制作証明書、美術活動調査書、入選・入賞を確認できる資料等（コピーでも可）を含めて判定します。 |
| 保健体育専攻 | ○ 集団面接及び個人面接 集団面接／約30分／面接員複数／基本的な保健体育の知識を問うことを含む 個人面接／約15分／面接員複数／主に競技歴の確認 | ○ | × | 様式10 スポーツ活動調査書、競技成績を確認できる資料等（コピーでも可）も含めて判定します。 |
| 教育専攻 | ○ 集団面接（ただし、志願者数によって個人面接の場合もある）／約30分（個人面接の場合は約15分）／面接員複数 | ○ | × | |
| 教育心理専攻 | ○ 集団面接（ただし、志願者数によって個人面接の場合もある）／約30分（個人面接の場合は約15分）／面接員複数 | ○ | × | |
| 特別支援教育専攻 | ○ 集団面接／約30分／面接員複数 | ○ | × | |

(注) 面接時間は状況に応じて変わる場合があります。

試験等日時

| 時 間 | | 8:20 | 9:00 | 10:00 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 15:00 |
|-----------|----------|-----------------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 月 日 | 8:40 | | 10:30 | | 12:30 | 13:30 | |
| 11月19日(土) | 国語専攻 | 受 諸 注 付 意 | 小論文 | | 面 接 | | | | |
| | 社会専攻 | | 小論文 | | 面 接 | | | | |
| | 数学専攻 | | 小論文 | | 面 接 | | | | |
| | 理科専攻 | | 小論文 | | 面 接 | | | | |
| | 技術専攻 | | 小論文 | | 面 接 | | | | |
| | 音楽専攻 | | 実 技 ・ 面 接 | | | | | | |
| | 美術専攻 | | 実 技 | | | 面 接 | | | |
| | 保健体育専攻 | | 小論文 | | 面 接 | | | | |
| | 教育専攻 | | 小論文 | | 面 接 | | | | |
| | 教育心理専攻 | | 小論文 | | 面 接 | | | | |
| | 特別支援教育専攻 | | 小論文 | | 面 接 | | | | |

- (注) 1 受験者の入構開始時刻は8時です。諸注意等があるので試験開始30分前までには、定められた試験室に入室してください。
 2 遅刻した者は、志望する専攻の試験開始30分までは受験を認めます。ただし、試験時間は延長しません。
 3 受験者数により、途中昼食時間を入れることもあります。
 4 終了時間は延長される場合があります。
 5 面接の順番により、終了時刻が異なります。

試験場

| 試験場 | 所在地 | 試験場までの交通案内 |
|----------------|-----------|---------------------|
| 群馬大学 共同教育学部 | 前橋市荒牧町4-2 | 74ページ「試験場までの交通案内」参照 |

(注) 試験当日における付添者の試験場への入構は、遠慮願います。

◎ 情報学部

選考は、面接・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（一般枠、プログラム特別枠又はGFL特別枠のうち該当するもの1つ）、資格検定の証明書（プログラム特別枠又はGFL特別枠志願者のうち該当者のみ）を総合して判定します。

出身学校長から推薦された者について、出願区分ごとに選考を行い合格者を決定します。

なお、併願で出願し、合格とならなかった場合、一般枠にて選考を行います。

プログラム特別枠の各プログラムの特徴は41・42ページを参照。

【出願区分】

| 出 願 区 分 | |
|-----------------|---------------------|
| 一般枠単願 | |
| 人文情報プログラム単願 | 人文情報プログラム・一般枠併願 |
| 社会共創プログラム単願 | 社会共創プログラム・一般枠併願 |
| データサイエンスプログラム単願 | データサイエンスプログラム・一般枠併願 |
| 計算機科学プログラム単願 | 計算機科学プログラム・一般枠併願 |
| GFL特別枠単願 | GFL特別枠・一般枠併願 |

試験等

【一般枠】

○は課す ×は課さない

| 面 接 | 小論文 | 備 考 |
|----------------------|---------------------------|---|
| ○ 個人面接／15分／ 面接員複数 | ○ 文系型又は理系型のい ずれかを当日、選択 | 小論文の文系型及び理系型のそれぞれの 得点は素点としますが得点調整を行うこ とがあります。 |

(注) 面接時間は状況に応じて変わる場合があります。

【プログラム特別枠・GFL特別枠】

○は課す ×は課さない

| 面接 | 小論文 | 備考 |
|----------------------|---------------------------|---|
| ○ 個人面接／20分／ 面接員複数 | ○ 文系型又は理系型のい ずれかを当日、選択 | 小論文の文系型及び理系型のそれぞれの 得点は素点としますが得点調整を行うこ とがあります。 |

(注) 面接時間は状況に応じて変わる場合があります。

試験等日時

| 月 日 | 8:20 | | 9:00 | | 11:00 | | 12:30 | |
|-----------|--------|-------------|------|--|-------|--|-------------|--------|
| | 8:40 | | | | | | 12:20 | |
| 11月19日(土) | 受 付 | 諸 注 意 | 小論文 | | | | 諸 注 意 | 面 接 |

- (注) 1 受験者の入構開始時刻は8時です。諸注意等があるので試験開始30分前までには、定められた試験室に入室してください。
2 遅刻した者は、試験開始後30分までは受験を認めません。ただし、試験時間は延長しません。
3 面接の順場により、終了時刻が異なります。

試験場

| 試験場 | 所在地 | 試験場までの交通案内 |
|--------------|-----------|---------------------|
| 群馬大学 情報学部 | 前橋市荒牧町4-2 | 74ページ「試験場までの交通案内」参照 |

(注) 試験当日における付添者の試験場への入構は、遠慮願います。

◎ 医学部

(I) 医学科

選考は、大学入学共通テスト、面接・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、適性資質調査書、志願理由書（地域医療枠で出願する者のみ））を総合して判定します。

合格者の判定はそれぞれの出願区分により行い、面接及び小論文の総得点（大学入学共通テストの成績は含まない）を基準とし、実施します。大学入学共通テストの成績は学力水準の到達度を判定する資料とします。

大学入学共通テスト、面接及び小論文のいずれかに不良のものがあつた場合は、総合点にかかわらず不合格とします。

なお、入学後、地域医療枠を辞退することは、出願要件の趣旨に反することから、理由の如何を問わず認めません。

また、地域医療枠で出願し、合格判定の結果、合格とならなかった場合、一般枠にて再度合格者の判定を行います。

【出願区分】

| |
|-----------|
| 出 願 区 分 |
| 一 般 枠 |
| 地 域 医 療 枠 |

試験・配点等

| 個別学力検査等の配点 | |
|------------|--------------------|
| 小論文 | 面接（集団面接／４０分／面接員複数） |
| １００ | ※ |

- (注) 1 面接(※)の点数は、偏差値化した値(平均50)を用います。
 2 面接時間は状況に応じて変わる場合があります。

| 大学入学共通テストの利用教科・科目名 | | 配点 |
|--------------------|---------------------------|-----|
| 教科 | 科目名等 | |
| 国 | 国【必須】 | 200 |
| 地歴 | 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 | 100 |
| 公民 | | |
| 数 | 数Ⅰ・数A【必須】 | 200 |
| | 数Ⅱ・数B【必須】 | |
| 理 | 物理、化学、生物から2 | 200 |
| 外国語 | 英、独、仏から1 | 200 |
| [5教科7科目] | | |

- (注) 1 「地歴」及び「公民」については、同一名称を含む科目（「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」等）を組み合わせることはできません。
 2 「地歴」及び「公民」について、計2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
 3 「英語」については、リスニングを含み、利用方法については、次のとおりとします。
 大学入学共通テストの英語の配点は、リーディング100点、リスニング100点となっていますが、本学では、リーディングとリスニングの配点を4:1とします。具体的には、リーディング160点満点、リスニング40点満点に換算し、合わせて200点満点とします。なお、英語を選択しリスニングを免除された場合はリーディングの点数(100点)の傾斜配点(×2.0)を行い、英語以外の外国語を選択した場合については、筆記の点数(200点)を配点とします。
 4 利用教科・科目等は78ページの「大学入学共通テスト受験教科・科目 自己確認表」を併せてご確認ください。

試験等日時

| 月 日 | 時 間 | | 9:30 | | 11:30 | | 13:00 | | 14:30 | | 15:30 | | 17:00 | |
|-----------|-----|--|-----------------------------------|--|-------|---|-------|-----|-------|--|-------|--|-------|--|
| | | | | | | | 12:40 | | | | 15:15 | | | |
| 11月19日(土) | | | | | 受 | 諸 | | 小論文 | | | 諸 | | 小論文 | |
| 11月20日(日) | | | 面 接 面接の詳細については11月19日(土)に通知します。 | | | | | | | | | | | |

- (注) 1 諸注意等があるので試験開始30分前までには、定められた試験室に入室してください。
 2 遅刻した者は、試験開始後30分(面接は集合時刻の30分後)までは受験を認めません。ただし、試験時間は延長しません。
 3 面接試験時に追加の資料提出は認めません。

試験場

| 試験場 | 所在地 | 試験場までの交通案内 |
|-------------|---------------|---------------------|
| 群馬大学 医学部 | 前橋市昭和町3-39-22 | 75ページ「試験場までの交通案内」参照 |

- (注) 試験当日における付添者の試験場への入構は、遠慮願います。

(2) 保健学科

選考は、面接、小論文Ⅰ（英語による出題）・小論文Ⅱ（文系の出題）・小論文Ⅲ（理系の出題）及び出願書類（調査書、推薦書）を総合して判定します。

試験等

○は課す ×は課さない

| 面接 | 小論文 | 備考 |
|------------------|-----|----|
| ○ 集団面接／20分／面接員複数 | ○ | |

(注) 面接時間は状況に応じて変わる場合があります。

試験等日時

| 月 日 | 8:40 | | 9:30 | 10:00 | 12:00 | 13:30 | 14:30 |
|-----------|----------------------------------|----|------|--------------|-------|-------|------------|
| | | | 9:40 | | | 13:10 | |
| 11月18日(金) | | 受付 | 諸注意 | 小論文 (Ⅰ・Ⅱ) | | 諸注意 | 小論文 (Ⅲ) |
| 11月19日(土) | 面接 面接の詳細については11月18日(金)に通知します。 | | | | | | |

- (注) 1 諸注意等があるので試験開始30分前までには、定められた試験室に入室してください。
2 遅刻した者は、試験開始後30分(面接は集合時刻の30分後)までは受験を認めません。ただし、試験時間は延長しません。

試験場

| 試験場 | 所在地 | 試験場までの交通案内 |
|-------------|---------------|---------------------|
| 群馬大学 医学部 | 前橋市昭和町3-39-22 | 75ページ「試験場までの交通案内」参照 |

(注) 試験当日における付添者の試験場への入構は、遠慮願います。

◎ 理工学部

○物質・環境類

選考は、出願書類（調査書、推薦書*、GFL特別枠志願理由書（GFL特別枠及び併願で出願する者のみ）、英語外部検定試験の成績（GFL特別枠及び併願で出願する者のみ）、面接を総合して判定します。

合格者の判定は一般枠とGFL特別枠でそれぞれの基準により実施します。

なお、GFL特別枠・一般枠併願で出願した場合、一般枠の合格基準を満たしている、GFL特別枠の合格基準を満たさない場合は、一般枠として合格となります。

【出願区分】

| 出願区分 |
|--------------|
| 一般枠 |
| GFL特別枠 |
| GFL特別枠・一般枠併願 |

試験等

○は課す ×は課さない

| 類 | 面接 | 備考 |
|--------|---|--|
| 物質・環境類 | ○ (一般枠) 個人面接／約20分／面接員複数／理工学教育を受けるための基礎能力に関する口頭試問を含む (GFL特別枠(一般枠との併願志願者含む)) 個人面接／一般試問：約20分、GFL試問：約10分 ／面接員複数／一般試問：理工学教育を受けるための基礎能力に関する口頭試問を含む、GFL試問：GFL特別枠志願理由及び入学後にやりたいGFL活動等 | 面接の結果が著しく不良の場合は、出願書類にかかわらず不合格となる場合があります。 |

(注) 面接時間は状況に応じて変わる場合があります。また、面接時間の長さは可否には影響しません。

試験等日時

| | | | | |
|-----------|----|------|------|-------|
| 月 日 | 時間 | 8:00 | 9:00 | 17:00 |
| | | 8:30 | | |
| 11月17日(木) | 受付 | 諸注意 | 面接 | |

- (注) 1 受験者の入構開始時刻は8時です。諸注意等があるので試験開始30分前までには、定められた試験室に入室してください。
 2 遅刻した者は、試験開始後30分までは受験を認めず。
 3 面接の順番により、終了時刻が異なります。

○電子・機械類

選考は、出願書類(調査書、推薦書*、GFL特別枠志願理由書(GFL特別枠及び併願で出願する者のみ)、英語外部検定試験の成績(GFL特別枠及び併願で出願する者のみ))、面接を総合して判定します。

合格者の判定は一般枠とGFL特別枠でそれぞれの基準により実施します。

なお、GFL特別枠・一般枠併願で出願した場合、一般枠の合格基準を満たしている、GFL特別枠の合格基準を満たさない場合は、一般枠として合格となります。

【出願区分】

| 出 願 区 分 |
|--------------|
| 一般枠 |
| GFL特別枠 |
| GFL特別枠・一般枠併願 |

試験等

○は課す ×は課さない

| 類 | 面接 | 備 考 |
|--------|--|--|
| 電子・機械類 | ○ (一般枠) 個人面接/約15分/面接員複数/理工学教育を受けるための基礎能力に関する口頭試問を含む (GFL特別枠(一般枠との併願志願者含む)) 個人面接/一般試問:約15分、GFL試問:約5分/面接員複数/一般試問:理工学教育を受けるための基礎能力に関する口頭試問を含む、GFL試問:GFL特別枠志願理由及び入学後にやりたいGFL活動等 | 面接の結果が著しく不良の場合は、出願書類にかかわらず不合格となる場合があります。 |

(注) 面接時間は状況に応じて変わる場合があります。また、面接時間の長さは合否には影響しません。

試験等日時

| | | | | |
|-----------|----|------|------|-------|
| 月 日 | 時間 | 8:00 | 9:00 | 17:00 |
| | | 8:30 | | |
| 11月17日(木) | 受付 | 諸注意 | 面接 | |

- (注) 1 受験者の入構開始時刻は8時です。諸注意等があるので試験開始30分前までには、定められた試験室に入室してください。
 2 遅刻した者は、試験開始後30分までは受験を認めず。
 3 面接の順番により、終了時刻が異なります。

*活動歴として英語外部検定試験の成績を提出する場合は、GTEC（4技能）、TOEFL iBT、TOEIC Listening & Reading Test、実用英語技能検定試験（英検）、IELTS、TEAPのいずれかの下記書類を提出してください（コピー可）。

| | |
|--------------------------------|--------------------------------------|
| GTEC（4技能） | 有効期間内のOFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る |
| TOEFL iBT | 本人宛てに送付されたスコア（Examinee Score Report） |
| TOEIC Listening & Reading Test | Official Score Certificate |
| 実用英語技能検定試験（英検） | 個人成績表（一次および二次試験、得点の記載があるもの） |
| IELTS | 本人宛てに送付されたスコア（Test Report Form） |
| TEAP | 本人宛てに送付された成績表 |

試験場

| 試験場 | 所在地 | 試験場までの交通案内 |
|--------------|-------------|---------------------|
| 群馬大学 理工学部 | 桐生市天神町1-5-1 | 76ページ「試験場までの交通案内」参照 |

(注) 試験当日における付添者の試験場への入構は、遠慮願います。

7. 障害等のある入学志願者との事前相談について

本学では障害等のある学生への修学支援を行っております。

障害等があって、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、あらかじめ本学と相談してください。

(1) 相談の時期

2022年10月3日（月）までとしますが、なるべく早い時期に相談してください。ただし、点字又は代筆による解答を希望する者は、2022年10月3日（月）以前のできるだけ早い時期に相談してください。

時期を過ぎてからの相談は、対応できない場合がありますので、ご注意ください。

(2) 相談の方法

本学所定の相談書（本学ホームページ参照 <https://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/g2117>）に医師の診断書等必要書類を添付して提出してください。

必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者との面談等を行います。

(3) 相談書送付先

〒371-8510 前橋市荒牧町4-2 電話：027-220-7150
群馬大学学務部学生受入課入学試験係

8. 合格者の発表等

(1) 発表日時

| | | |
|------------------------------|---------------|-------|
| 共同教育学部、情報学部、 医学部保健学科、理工学部 | 2022年12月6日（火） | 10時以降 |
| 医学部医学科 | 2023年2月14日（火） | 10時以降 |

合格者本人へはインターネット出願時に入力した住所あてに合格通知書を、推薦を行った出身学校長へは選考結果通知書（合否一覧）を郵送します。併せて、合格者の受験番号を、本学ホームページ（入試情報）に掲載します。

群馬大学ホームページ：<https://www.gunma-u.ac.jp/>

- 大学構内での掲示等はいりません。なお、合否についての電話による問合せには、応じません。
- (2) 学校推薦型選抜で合格した者は、他の国公立大学を受験しても、その大学の合格者となりません。

ただし、特別な事情があり、推薦を行った出身学校長（高等学校長等）から2023年2月20日（月）までに、「学校推薦型選抜辞退願」を本学学長に提出し、その許可が得られた場合はこの限りではありません。

9. 受験心得

- (1) 受験票を必ず持参し、試験場に入構の際、提示してください。なお、合格後、入学手続の際にも必要となりますので大切に保管してください。
- (2) 課せられた試験等は、全て受験しなければ失格となります。
- (3) 試験室では、受験番号と同じ番号の席に着き、受験票を机上の右上隅においてください。
- (4) 遅刻した者は、試験開始後30分までは受験を認めません。ただし、試験時間は延長しません。
- (5) 試験時間中は、監督者の指示に従ってください。
- (6) 以下のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、受験資格を失うことになります。
- また、悪質と判断された場合は、警察に被害届を提出する場合があります。
- ア 写真票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入した場合
- イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを見たりすること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ウ 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをすること。
- エ 配付された問題冊子や解答用紙を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- オ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めること。
- カ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり、使用すること。
- キ 「解答やめ。」の指示に従わず、解答を続けること。
- ク 試験場において他の受験者の迷惑となる行為や監督者等の指示に従わないこと。
- ケ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。
- (7) 試験時間中に日常的な生活騒音等（監督者の巡回による足音・監督業務上必要な打ち合わせなど、航空機・救急車・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置は行いません。
- (8) 試験開始時には必ず解答用紙（下書用紙とも）に本学受験番号及び氏名を記入してください。
- (9) 途中退場は認めません。
- (10) 試験終了時には、直ちに答案から手を離し、監督者の指示を待ってください。
- (11) 辞書の使用は認めません。
- (12) 本学受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、次のとおりです。これ以外の所持品を使用又は置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。
- ・黒鉛筆（HBに限る。）（美術専攻の実技試験を除く）、鉛筆キャップ、シャープペンシル

- ・プラスチック製の消しゴム
 - ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）
 - ・時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。）
 - ・眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。）
- (13) 小論文の解答はHBの鉛筆（シャープペンシル可）を使用してください。
- (14) 昼食は必ず持参してください。
- (15) マスクを必ず持参し、着用してください。
- (16) このほか場合により受験上の注意事項を試験場に掲示するので、よく見ておいてください。

10. 入学手続等

「合格通知書」とともに同封する「入学手続案内」を参照し、次のとおり入学手続を行ってください。

(1) 入学手続期間

◎共同教育学部、情報学部、医学部保健学科、理工学部

2022年12月7日（水）から12月14日（水）までに郵送必着

◎医学部医学科

2023年2月14日（火）から2月20日（月）までに郵送必着

(2) 入学手続に必要なもの

① 入学料 282,000円

（注）ア 入学時に入学料の改定が行われた場合は、改定金額を適用します。

イ 入学料の納入方法等は、別途連絡します。

ウ 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

② 大学入学共通テスト受験票（医学部医学科）

③ 本学の受験票

④ 入学手続案内で指示するもの

(3) 入学後に必要な納付金

① 授業料 前期分 267,900円 年額 535,800円

（注）ア 入学時および在学中改定が行われた場合は、改定金額を適用します。

イ 授業料の納入方法等は、別途連絡します。

ウ 授業料の納入については、希望により入学料の納入の際に、前期分又は前期分・後期分を合わせて納入することができます。

エ 授業料を納入した入学手続完了者が、2023年3月31日（金）までに入学を辞退した場合は、納入した者の申し出により、所定の手続の上、納入した授業料相当額を返還します。

② 入学料、授業料の他に、各学部等で次の諸経費があります（納入日等は後日指示されます。なお、金額は予定であり、入学時及び在学中に改定が行われる場合があります）。

共同教育学部… 46,660円 [内訳：教育学部同窓会学部後援部会費 35,000円／同窓会入会金2,000円／学生教育研究災害傷害保険料3,300円／学研災付帯賠償責任保険料1,360円／荒牧クラブ・サークル協議会費5,000円] ※その他テキスト代として、年間25,000円程度必要になります。

情報学部…………… 49,660円 [内訳：後援会費 20,000円／同窓会費 20,000円／学生教育研究災害傷害保険料3,300円／学研災付帯賠償責任保険料1,360円／荒牧クラブ・サークル協議会費5,000円] ※

その他テキスト代として、年間20,000円程度が必要になります。

医学部医学科…304,300円 [内訳：後援会費 100,000円（共用試験等受験料を含む）
／刀城クラブ・同窓会終身会費 170,000円／学生教育研究
災害傷害保険料 4,800円／学研災付帯賠償責任保険料
3,000円／医療費補助会費 12,000円／荒牧クラブ・
サークル協議会費 5,000円／学友会費 9,500円] ※そ
の他テキスト代として、年間150,000円程度必要になります。

医学部保健学科…94,370円 [内訳：後援会費 40,000円／同窓会終身会費
40,000円／学生教育研究災害傷害保険料 3,370円／
学研災付帯賠償責任保険料 2,000円／荒牧クラブ・サーク
ル協議会費 5,000円／学友会費 4,000円] ※その他
テキスト代として、年間70,000円程度必要になります。

※ 医学部学生は患者さん及び本人の感染防止のため、麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎・
B型肝炎・結核等の予防接種・感染症検査を受ける必要があります。なお、検査・ワクチン
接種にかかる費用は自費となります。

理工学部…89,560円 [内訳：後援会費 20,000円／工業会費（同窓会終身会費）
50,000円／学生教育研究災害傷害保険料 3,300円
／学研災付帯賠償責任保険料 1,360円／荒牧クラブ・サー
クル協議会費 5,000円／学友会費9,900円] ※その
他テキスト代として、年間44,000円程度必要になります。

(4) 入学料免除・徴収猶予及び授業料免除・徴収猶予

特別な事情により学費の納入が著しく困難であると認められた者（外国人留学生を除く日本学生支援機構給付型奨学金支給対象者等）に対して、入学料及び授業料を免除する制度があります。また、所定の納期までに入学料又は授業料の納入が困難であると認められた者に対して、入学料又は授業料の徴収を一定期間猶予することがあります。

申請を希望する者は、群馬大学ホームページ（<https://www.gunma-u.ac.jp/>）の「入試情報＞学費・奨学金」を御覧ください。

問合せ先 群馬大学学務部学生支援課学生生活係 電話：027-220-7141

(5) 奨学金

経済的理由により修学に困難がある、学業・人物ともに優れた学生に対し、修学を援助するために日本学生支援機構等による奨学金の貸与・給付制度があります。

希望する者は、群馬大学ホームページ（<https://www.gunma-u.ac.jp/>）の「入試情報＞学費・奨学金」を御覧ください。

問合せ先 群馬大学学務部学生支援課学生生活係 電話：027-220-7142

11. 一般選抜等への出願について

本選抜において不合格となった者は、本学の他の選抜又は他大学の選抜に出願することができます。

大学入学共通テストを受験した者で国立大学の一般選抜に出願しようとする者は、各大学の所定の方法により、「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの、合計二つの大学・学部に出願できます。（公立大学については、協会ホームページ（<https://www.kodaikyo.org/>）参照）

なお、本学の他の選抜へ再度出願する場合でも、一般志願者と全く同様の出願手続（検定料は17,000円）が必要です。

12. 入学準備

本学では、入学手続を行った者に対し、基礎学力維持のため、2023年1月実施の大学入学共通テストにおいて、入学学部が一般選抜で課している教科・科目を自主的に受験しておくことを推奨します。なお、自己採点結果、成績通知書の提出の有無については、各学部により異なります。

また、各学部では更に次のとおり、課題等を用意しています。

◎ 共同教育学部

大学入学共通テストを自主的に受験しておくことを強くお勧めします。

その際は、共同教育学部が一般選抜前期日程試験で課している大学入学共通テスト教科・科目（下表のとおり）に準じて受験し、「自己採点結果」を下記宛先へ2023年1月27日（金）までに送付してください。

また、大学入学共通テストの出願時に成績開示を希望した場合は、大学入試センターから送付される「成績通知書」（コピー可）も入学後に提出してください。

なお、この成績は学校推薦型選抜の可否には関係ありません。

○ 大学入学共通テスト「自己採点結果」及び「成績通知書」送付先

〒371-8510 前橋市荒牧町4-2

群馬大学共同教育学部免許状更新講習・入学試験係宛

*封筒には「大学入学共通テスト自己採点結果在中」又は「大学入学共通テスト成績通知書在中」と朱書きしてください。

大学入学共通テスト教科・科目

国語、社会、教育、教育心理、特別支援教育専攻

| | | |
|----|--|--------|
| 国 | 国【必須】 | |
| 地歴 | 世A、世B、日A、日B 地理A、地理B | } から2 |
| 公民 | 現社、倫、政経、倫・政経 | |
| | ※ただし、世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから少なくとも1 | |
| 数 | 数I、数I・数A 数II、数II・数B | } から1 |
| 理 | ア 物基、化基、生基、地基 から2 イ 物、化、生、地学 から1 | |
| 外 | 英、独、仏、中、韓 から1 | } ア又はイ |
| | [5教科6科目又は5教科7科目 若しくは6教科6科目又は6教科7科目] | |

数学、理科、技術専攻

| | | |
|----|---------------------------|-------|
| 国 | 国【必須】 | |
| 地歴 | 世A、世B、日A、日B 地理A、地理B | } から1 |
| 公民 | 現社、倫、政経、倫・政経 | |
| 数 | 数I・数A [必須] 数II・数B [必須] | |
| 理 | 物、化、生、地学 から2 | |
| 外 | 英、独、仏、中、韓 から1 | |
| | [5教科7科目] | |

音楽、美術、保健体育専攻

| | | |
|------------------|-------------------------------------|--------|
| 国 | 国【必須】 | |
| 地歴 | 世A、世B、日A、日B 地理A、地理B | } から1 |
| 公民 | 現社、倫、政経、倫・政経 | |
| 数 | 数I、数II・数A 数II、数II・数B | } から1 |
| 理 | ア 物基、化基、生基、地基 から2 イ 物、化、生、地学 から1 | |
| 外 | 英、独、仏、中、韓 から1 | } ア又はイ |
| [5教科5科目又は5教科6科目] | | |

また、これとは別に下記のとおり、専攻別に課題等を用意しています。

○ 専攻別課題

国語専攻：国語に関する新書数冊を読み、自ら論点を設定した小論文の提出を求めます。

社会専攻：8冊程度の推薦図書の中から3冊を選び、レポートの提出を求めます。

数学専攻：教科書以外の一般向け数学書を何冊か読むことを望みます。

理科専攻：約10冊の推薦図書の中から1冊以上を選び、読書感想文の提出を求めます。

技術専攻：約10冊の指定図書のうち2冊について、レポートを提出してもらいます。

美術専攻：美術館及び展覧会の見学並びに美術・美術教育に関する書籍を読むことを求めます。また、F8以上のスケッチブックに、デッサン・水彩画等を描き、その提出を求めます。

保健体育専攻：保健体育・スポーツに関する図書を2冊選び、精読すること。図書2冊のレポート（形式は自由です）を入学後に提出してもらいます。加えて、自己の運動能力の保持増進と運動指導方法に関する知見を高めしておくことを望みます。

教育専攻：教育に関わる課題を提示するので、これについて取り組んだ成果を提出してもらいます。

教育心理専攻：教育心理に関わる課題を提示するので、これについて取り組んだ成果を提出してもらいます。

特別支援専攻：教育、福祉、医療等に関わる課題を課し、取り組んだ成果を提出してもらいます。

◎ 情報学部

【一般枠・プログラム特別枠】

入学前までに、大学入学共通テストの英語と数学の過去問題を解くこと及び情報学関連の図書を1冊読み、その要約と感想を書くことを課題とします。（詳細は合格者に別途お知らせします。）

また、情報学部が文理融合の学部であることを踏まえ、文系・理系を問わず、継続的な英語、数学の自主学習を推奨します。

【GFL特別枠】

GFL特別枠での合格者は、一般枠・プログラム特別枠合格者の課題に加え、グローバル社会関連の図書を1冊読み、その要約と感想を書くことを課題とします。（詳細は合格者に別途お知らせします。）また英語などの語学学習、海外での語学研修やボランティア活動への参加を推奨します。

◎ 医学部保健学科

理科（物理、化学、生物）の未履修科目の学習、実用英語技能検定、TOEIC Listening & Reading Test、TOEFLの受験、入学前のボランティア活動を推奨します。また、入学前に読んでおくことが望ましい推薦図書のリストを送付しますので、学習の参考にしてください。

◎ 理工学部

基礎学力の向上及びその確認のために、入学手続を行った者に対して、2023年1月実施の大学入学共通テストの受験を推奨しています。

大学入学共通テストを受験した者は、数学・理科・外国語の「自己採点結果」を下記宛先へ2023年1月31日（火）までに提出してください。（大学入学共通テストの出願時に、成績開示を希望した場合は、大学入試センターから送付される「成績通知書」（コピーでも可）も、入学後に提出してください。）

入学後、この成績を参考に入門科目の受講免除の判定や、一般枠合格者が「グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成プログラム」を希望する場合の選抜にも用います。

なお、この成績は学校推薦型選抜の可否には関係ありません。

これとは別に、各類では独自の課題等を用意しています。詳細は合格者に別途お知らせします。

○ 大学入学共通テスト「自己採点結果」及び「成績通知書」送付先

〒376-8515 桐生市天神町1-5-1 群馬大学理工学部入試・大学院係宛

*封筒には「大学入学共通テスト自己採点結果在中」又は「大学入学共通テスト成績通知書在中」と朱書きしてください。

13. 出願書類の記入上の注意

- (1) 黒のボールペン又は万年筆を使用してください。
- (2) 必要事項は正確に楷書で記入し、該当事項はもれなく○で囲んでください。
なお、※印欄は記入しないでください。

14. 別記

共同教育学部実技試験の内容等

○ 音楽専攻

声楽試験と器楽試験を次のとおり行います。選択事項を「様式7 実技試験に関する届出用紙（共同教育学部 音楽専攻志願者用）」の所定の欄に記入の上、出願書類とともに提出してください。

声楽試験

次の(1)、(2)を演奏してください。

(1) コールユーブンゲン視唱

コールユーブンゲン 第1巻（No. 1～No. 87）より当日1曲指定します。固定ド、移動ドのいずれかで歌ってください。

【注】 以下の楽譜を参考にしてください（試験において使用する楽譜は本学で用意します）。

大阪開成館：『全訳コールユーブンゲン』

音楽之友社：『コールユーブンゲン 巻Ⅰ』

全音楽譜出版社：『全訳コールユーブンゲン Ⅰ』

(2)『コンコーネ50番』Op. 9中声用より、23番（ト長調）、33番（変イ長調）、41番（ト長調）の中から当日指定された1曲を暗譜で演奏してください。

【注】1 任意に移調しないこと。

2 固定ド、移動ドのいずれかで歌ってください。

3 伴奏者は本学で用意します。

器楽試験

選択課題

下記、(a)、(b)いずれかを選択してください。

(a) ピアノ

任意の自由曲1曲を暗譜で演奏してください。反復記号による繰り返しは省略してください。

(b) 管、弦、打楽器（邦楽器を含む）及びピアノ

次の①、②を演奏してください。暗譜演奏で、反復記号による繰り返しは省略してください。

① 次の楽器の中から一つを選択し、中級程度以上の任意の楽曲又は練習曲を無伴奏で演奏してください。

管楽器：フルート、オーボエ、クラリネット、サキソフォン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ

弦楽器：ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ

打楽器：小太鼓、マリンバ

邦楽器：箏、三味線

【注】使用する楽器は各自持参してください。ただし、以下の楽器は本学のものを使用してください。

・マリンバ musser [音域A～C 4 1/2オクターヴ] マレットは持参してください。

・ハープ Aoyama Orpheus 47A [47弦ペダルハープ 音域0G～7C]

② ピアノ：任意の自由曲1曲を暗譜で演奏してください。反復記号による繰り返しは省略してください。

(注) 声楽試験及び器楽試験においては、演奏を途中で打ち切ることがあります。

○ 美術専攻

用意された材料・用具を用いた立体造形物の制作及び鉛筆デッサン。

・デッサンのための鉛筆、消具等は、受験者が用意してください。

・実技試験時間は3時間です。

15. 2023年度入試情報開示について

群馬大学では、特別選抜について、次のとおり開示し提供します。

(1) 開示する基本的情報

志願者数
受験者数
合格者数
入学者数
入学辞退者数

……2023年5月8日（月）以降に、本学のホームページにて掲載します。

- ・小論文、面接、実技試験の「評価のポイント」…2023年10月頃までに、本学のホームページにて掲載します。

(2) 閲覧による開示情報

- ・入学に関する規則・規程等
- ・入試実施体制

開示期間は、2023年4月3日（月）から5月26日（金）までとします。（土・日曜日、祝休日を除く。）

16. 入学志願者の個人情報保護について

群馬大学では、提出された出願データ及び出願書類により取得した志願者の個人情報及び入学試験の実施により取得した受験者の個人情報について、「国立大学法人群馬大学保有個人情報管理規程」等に基づいて取扱い、次の目的以外には利用しません。

○入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）

○入学手続完了者にあつては、入学者データとして入学後の就学指導業務、学生支援業務及び授業料徴収業務

○大学運営上の目的で行われる調査・研究に関する業務（入試の改善や志願動向の調査・分析、各種統計資料作成業務を含む。）

なお、当該個人情報を利用した調査・研究結果の発表に際しては個人が特定できないように処理します。

また、本学の上記業務にあたり、一部の業務を個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。

国立大学の一般選抜における合格者決定業務を円滑に行うため、本学の一般選抜志願者の学部、試験区分、合格状況、本学の受験番号及び大学入学共通テストの受験番号に限って、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

17. 入試過去問題の利用について

(1) 本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、本学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）を実現するために必要と認める範囲で、「入試過去問題活用宣言」参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。

(2) 入試過去問題を使用して出題する場合は、一部を改変することもあります。また、必ず使用するとは限りません。

(3) 入試過去問題を使用して出題した場合は、入試終了後に受験者に分かる形で使用過去問題を公表します。

- (4) 「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しております。

<https://www.nyushikakomon.jp/>

18. 類及び進級について（理工学部）

理工学部は、「類」による選抜を実施しております。

「類」とは幅広く理工学を学ぶためのものです。分野横断的な教育を強化し、IoT (Internet of Things:モノのインターネット) や持続可能な社会に向けた課題解決ができる人材を育成します。

入学後はまず「類」に所属し、教養教育や理工学基礎科目、類共通科目などを通して幅広い知識を身に付けます。その後、自分の適性を考えながら「プログラム」を選択します。従来の伝統的な学術分野を背景とするプログラムに加えて、理工学の知識を基にした食品工学、化学と物理の融合した材料科学、電気と機械の融合した知能制御などユニークなプログラムによって、みなさんの専門性を育てていきます。

進級する教育プログラムについては、学生の希望や成績等をもとに決定されます。

- (1) 物質・環境類 2年次後期から、応用化学プログラム、食品工学プログラム、材料科学プログラム・化学システム工学プログラム、土木環境プログラムに分かれます。材料科学プログラム・化学システム工学プログラムについては、3年次後期に「材料科学プログラム」と「化学システム工学プログラム」に分かれます。

① 応用化学プログラム

物質の性質・構造に関する分野や遺伝子、生命科学分野について学びます。

② 食品工学プログラム

食品工学の基礎や食品の製造に関わる食品生産科学について学びます。

③ 材料科学プログラム

物質科学と金属工学を基軸として、材料開発に関する基礎から最先端の知識と技術を幅広く学びます。

④ 化学システム工学プログラム

物質・エネルギーを無駄なく、クリーンに利用・生産するための知識と技術を学びます。

⑤ 土木環境プログラム

自然災害からの防御や社会的・経済的基盤の計画・整備・維持管理のための技術を学びます。

- (2) 電子・機械類 3年次前期から、三つの教育プログラムに分かれます。

① 機械プログラム

エネルギー変換技術や材料加工技術、機械力学技術について学びます。

② 知能制御プログラム

超スマート社会を創造する知能化メカトロ制御技術、IoTによるエネルギー制御技術について学びます。

③ 電子情報通信プログラム

最先端のデバイス、通信技術、IoTシステムなどの情報技術について学びます。

◎ 受験の際の宿泊について

群馬大学では、受験の際の宿泊施設等の斡旋は行いません。

◎ 試験場までの交通案内

○ 共同教育学部・情報学部

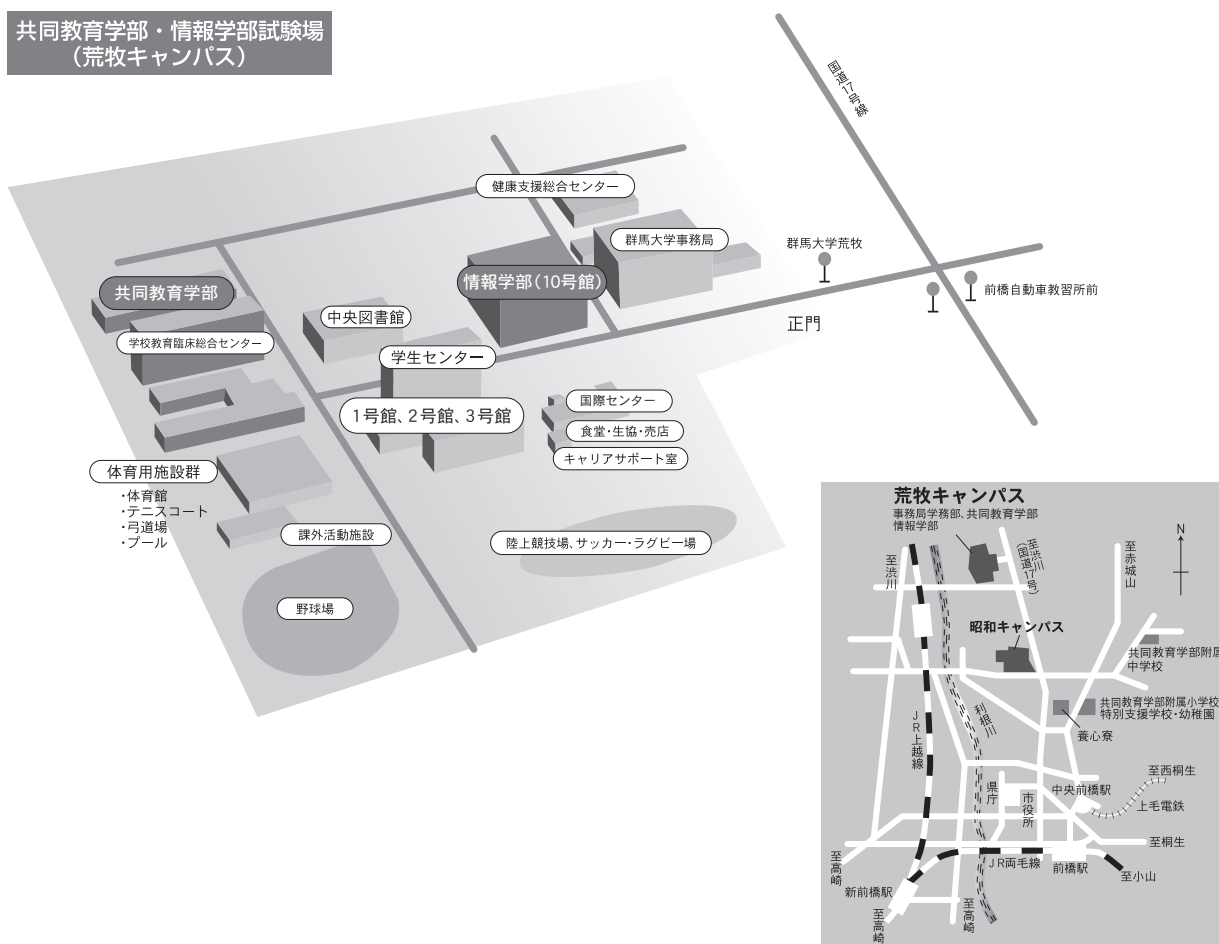
| 乗車場所 | バス行き先案内表示 | 下車停留所 | 所要時間 | 備考 |
|---------------------------|--|-----------|---------------|------------|
| J R 両毛線 前橋駅北口 2番乗り場 | ・群馬大学荒牧行 ・群馬大学荒牧經由渋川市内循環渋川駅行 ・群馬大学荒牧經由渋川駅行 ・群馬大学荒牧經由小児医療センター行 | 群馬大学荒牧 | 約28分 | 関越交通 バス |
| | ・渋川市内循環渋川駅行 ・渋川駅行 ・小児医療センター行 | 前橋自動車教習所前 | 約25分 徒歩10分 | |
| J R 上越線 渋川駅前 | ・群馬大学荒牧經由前橋駅行 ・渋川市内循環群馬大学荒牧經由前橋駅行 | 群馬大学荒牧 | 約28分 | 関越交通 バス |
| | ・前橋駅行 ・渋川市内循環前橋駅行 | 前橋自動車教習所前 | 約25分 徒歩10分 | |

※ 試験場への自動車・オートバイ等の乗入れは、禁止します。

※ J R 群馬総社駅及びJ R 新前橋駅からは、荒牧キャンパスを經由するバスはありませんので、注意してください。

※ 公共交通機関の運行状況は必ず最新の情報を確認し、集合時刻までに到着できるよう十分に余裕を持って試験場へお越しください。

共同教育学部・情報学部試験場
(荒牧キャンパス)



○ 理工学部

J R 両毛線桐生駅下車、北方へ 2.5 K m

東武桐生線新桐生駅下車、北方へ 4.1 K m

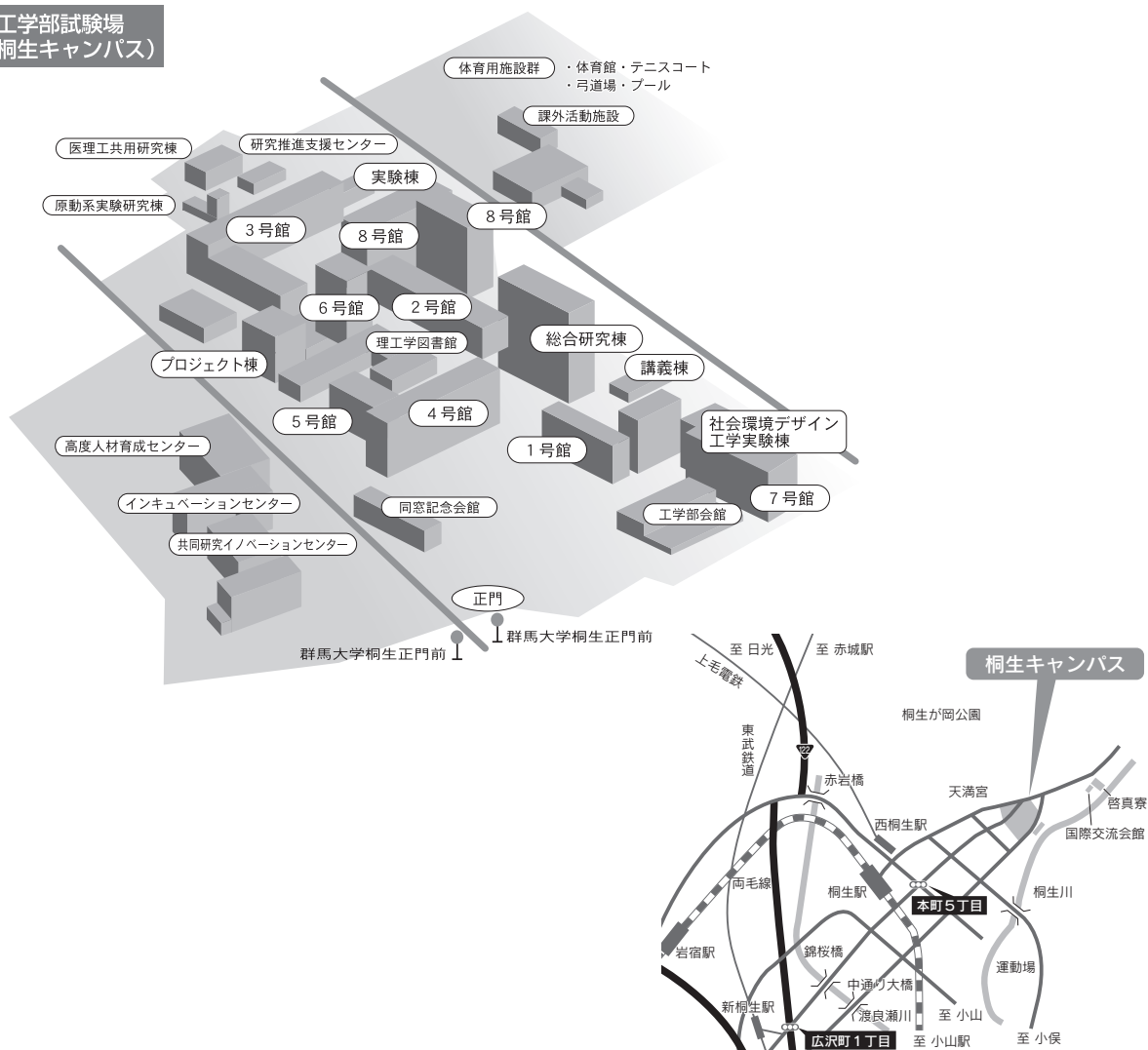
| 乗車場所 | バス行き先案内表示 | 下車停留所 | 所要時間 |
|---|------------------|-------------|--------|
| J R 両毛線桐生駅北口 おりひめバス「桐生駅北口」 | 旧女子高前行 二渡神社前行 | 「群馬大学桐生正門前」 | 約 7 分 |
| J R 両毛線桐生駅北口から徒歩約 10 分 おりひめバス「本町五丁目・シルクル前」 | 梅田ふるさとセンター前行 | | 約 4 分 |
| 東武桐生線新桐生駅 おりひめバス「新桐生駅」 | 旧女子高前行 | 「群馬大学桐生正門前」 | 約 20 分 |

※ 試験場への自動車・オートバイ等の乗入れは、禁止します。

※ 公共交通機関の運行状況は必ず最新の情報を確認し、集合時刻までに到着できるよう十分に余裕を持って試験場へお越しください。

※ 理工学部は、2013年4月に工学部を改組して設置された学部ですが、施設の名称が「工学部」となっている場合がありますので、御留意ください。

理工学部試験場 (桐生キャンパス)



◎ ノート型パソコンの準備のお願いについて

本学では、2021年度から、ICTを活用し、授業、eラーニング、自宅学修、教員との意見交換のため、新入生全員にノート型パソコンの準備をお願いしています。

ノート型パソコンは、授業において使用するほか、講義レポートの作成・提出、本学の教務システムによる修学上必要となる授業の履修登録や自己の学修の振り返りなど、在学中の様々な用途で幅広く活用することとなります。

また、現代社会を生きるために必要とされる一般的かつ基礎的な情報リテラシーを身につけるための「データ・サイエンス」（学部1年生全員が必修の教養教育科目）の授業受講においても、ノート型パソコンを使用することになります。

なお、本学では、2022年度現在、新型コロナウイルス感染症の対応のため、対面授業とパソコン等を使用したオンライン授業を併用して実施しています。

つきましては、ご入学に際して保護者等の方々の経済的な負担は相当なものと思いますが、趣旨をご理解いただき、ノート型パソコンをご準備いただきますようお願いいたします。

なお、ご準備いただくパソコンの性能等の情報は、合格通知又は入学手続の際に、改めて、お知らせいたします。

◎ 大学入学共通テスト受験教科・科目 自己確認表

下記の表は、医学部医学科が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験したことを確認するための表です。必ず志願者本人が、確認欄に1つずつ○をつけて、○の数が各教科の指定科目数になるかを確認してください。

医学部 医学科

| 教科 | 国語 | 地理歴史 | | | | 公民 | | | 数学① | | 数学② | | | 理科① | | | | 理科② | | 外国語 | | | | | | | | | | |
|-------|----|------|------|------|------|-----|-----|------|-----|-------|----------|-----|---------|------|----------|-------|--------|------|------|------|------|----|----|----|----|----|------|-------|-----|-----|
| 科目 | 国語 | 世界史A | 世界史B | 日本史A | 日本史B | 地理A | 地理B | 現代社会 | 倫理 | 政治・経済 | 倫理、政治・経済 | 数学I | 数学I・数学A | 数学II | 数学II・数学B | 簿記・会計 | 情報関係基礎 | 物理基礎 | 化学基礎 | 生物基礎 | 地学基礎 | 物理 | 化学 | 生物 | 地学 | 英語 | ドイツ語 | フランス語 | 中国語 | 韓国語 |
| 指定科目数 | 1 | | | | | | | | | | | - | 1 | - | 1 | - | - | - | - | - | - | | 2 | | - | | 1 | | - | - |
| 確認欄 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

受験番号

※

推 薦 書

群馬大学長 殿

年 月 日

学 校 名

所 在 地

校 長 名

TEL

職印

記載責任者名

Ⓔ (捺印)

下記生徒を貴大学学校推薦型選抜志願者として責任をもって推薦します。

記

| 学部コード | 志望学部 | 志望系・学科・類 | 専攻名 | フリガナ | | | 性別 |
|-----------|-----------------------------------|----------|----------------------|------|--------|--------|----|
| 1 | 共同教育学部 | _____ | | 氏名 | | | 男女 |
| 2 | 情報学部 | 情報学科 | _____ | 生年月日 | 年 月 日生 | | |
| 3 | 医学部 | 学科 | | 所属 | 学科 | 科 | |
| 4 | 工学部 | 類 | _____ | | 課程系 | 等 | |
| 推薦理由 | | | | | | | |
| 学力の3要素の評価 | 知識・技能 | | | | | | |
| | 思考力・判断力・表現力 | | | | | | |
| | 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 | | | | | | |
| 学業成績 | 算出方法 | 年次 | 学科・課程等別順位 (学科及び課程等名) | | | 学年全体順位 | |
| | 該当する方に○ 1 総合成績 2 その他 [] | 1年 | 人中 番 () | | | 人中 番 | |
| | | 2年 | 人中 番 () | | | 人中 番 | |
| | | 3年 | 人中 番 () | | | 人中 番 | |
| 特記事項 | | | | | | | |

(注1) 記入に当たっては、別紙「推薦書記入上の注意」を参照してください。

(注2) 高校在学中の「活動歴」がある場合は、「特記事項」欄に記入の上、その内容を確認できる資料を提出してください。

※印欄は記入しないでください。

[空白ページ]

推薦書記入上の注意

本学ホームページ（入試情報）に9月下旬までに様式を掲載しますので、ダウンロードして使用してください。※印の欄は記入しないでください。

パソコン入力可です。手書きの場合は黒のボールペンを使用してください。

群馬大学ホームページ：<https://www.gunma-u.ac.jp/>

A. 学部コード等

- (1) 共同教育学部志願者は、当該学部コードを○で囲み、専攻名を記入してください。
- (2) 情報学部志願者は、当該学部コードを○で囲んでください。
- (3) 医学部医学科志願者は、当該学部コードを○で囲み、学科名を記入してください。
- (4) 医学部保健学科志願者は、当該学部コードを○で囲み、学科名及び専攻名を記入してください。
- (5) 理工学部志願者は、当該学部コードを○で囲み、類名を記入してください。
- (6) 所属欄は、出願時に所属している学科及び課程・コース・系等を記入してください。

B. 推薦理由

◎共同教育学部

- (1) 本学共同教育学部へ責任をもって推薦する理由を記入してください。
- (2) 特に、志望する専攻への志向と適性について率直な御意見を記入してください。

◎情報学部

- (1) 本学情報学部へ責任をもって推薦する理由を記入してください。
- (2) 特に、情報学部への志向と適性について率直な御意見を記入してください。

◎医学部

医学科

- (1) 本学医学部医学科へ責任をもって推薦する理由を記入してください。
- (2) 特に、医学への志向と適性について率直な御意見を記入してください。

保健学科

- (1) 本学医学部保健学科へ責任をもって推薦する理由を記入してください。
- (2) 特に、志望する専攻への志向と適性について率直な御意見を記入してください。

◎理工学部

- (1) 本学理工学部へ責任をもって推薦する理由を記入してください。
- (2) 特に、理工学部への志向と適性について率直な御意見を記入してください。

C. 学力の3要素の評価

志願者の学習や活動の成果を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価について、記入してください。

なお、志願者の努力を要する点などについて、その後の指導において特に配慮を要するものがあれば、併せて記入してください。

D. 学業成績

各学年について、「学科・課程等別」と「学年全体」での成績順位を記入してください。

なお、3年次については、1学期（又は前期）の成績順位を記入してください。

- (1) 「算出方法」は、「1 総合成績」（全教科）に基づくことを原則としますが、これにより算出することが難しい場合は、「2 その他」に算出方法を明記してください。
- (2) 「学科・課程等別順位」の成績順位は、下記のとおり記入してください。

- ① 課程等（理系コース、進学クラス、特進コース等）に分かれていない場合は、() 内に学科名及び「課程等なし」と明記の上、学科順位を記入してください。

〈記入例〉

| |
|-----------------------|
| 学科・課程等別順位（学科及び課程等名） |
| 100人中 1番（ 普通科 課程等なし ） |

- ② 課程等（理系コース、進学クラス、特進コース等）に分かれている場合は、() 内に学科名及び課程等名を明記の上、課程等別順位を記入してください。

〈記入例〉

| |
|----------------------|
| 学科・課程等別順位（学科及び課程等名） |
| 40人中 1番（ 普通科 特進コース ） |

- ③ ②で課程等が複数の学科にまたがる場合は、その学科名を全て明記の上、課程等別順位を記入してください。

〈記入例〉

| |
|--------------------------|
| 学科・課程等別順位（学科及び課程等名） |
| 60人中 1番（ 普通科・理数科 特進コース ） |

- (3) 「学年全体順位」の成績順位については、学科・課程等別でのみ順位を算出している場合には、推定で記入し、「特記事項」欄に推定根拠を明記してください（模試成績から推定、等）。学校の事情により算出できない場合は、「学年全体順位」は空欄とし、算出できない理由を特記事項欄に記入してください。また、「学年全体順位」が「学科・課程等別順位」と同じ算出方法であれば「同左」と記入してください。
- (4) 上記(1)～(3)に当てはまらない等、記入方法が不明な場合は、学生受入課（電話：027-220-7150）へお問合せください。

E. 特記事項

高校在学中の「活動歴」又は「活動」がある場合は、「特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料又は「活動報告書」を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。

（活動歴の例）

英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学経験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など。

[空白ページ]

活動報告書（活動歴が証明できない者用）

| フリガナ | | 受験番号 |
|--|--|------|
| 氏名 | | ※ |
| <p>高等学校等における部活動、ボランティア活動、資格・検定、各種大会・コンクール、留学経験等について、中止・延期等により、<u>活動歴が証明出来ない場合は</u>、以下に、活動毎に成果獲得に向けた取組状況を記載してください。</p> <p>ただし、記載する活動は、原則3つまでとし、活動歴が証明できる書類を提出する場合は、その分を除いてください。（例：活動歴証明書類1点を提出する場合は、記載活動は、2つまで）</p> | | |
| | | |

記入上の注意

1. パソコン入力可です。手書きの場合は黒のボールペンを使用してください。
2. ※印欄は記入しないでください。

[空白ページ]

群馬大学医学部医学科志願者用

適性資質調査書

| 氏名(フリガナ) | 生年月日 | 性別 | 出身学校 |
|--|------------------|-------------|----------------|
| | 年 月 日生 | 男 ・ 女 | 国立 公立 私立 |
| 記載責任教諭氏名 | | | ㊟ (捺印) |
| 何れかに○印をつけてください。 クラス担任 (年次)、学年主任、進路指導、部活顧問、その他 () 記載理由 記載責任教諭がこの調査書を記入する立場を分かりやすく説明してください。 | | | |
| 特 記 事 項 | 奉仕活動(ボランティア)について | | |
| | その他の事項について | | |

※ 受 験 番 号

医学部医学科進学を希望する生徒に望ましい資質

1. 人間や社会に関心を持っている
2. 医学を学ぶことで社会貢献しようと心から望んでいる
3. 他者を思いやる気持ちと優しさをそなえ表している
4. 人の心の機微を感じとる豊かな感性と想像力をもっている
5. 周囲の人々と円滑なコミュニケーションをはかっている
6. 他人からの助言や指摘を素直に受け止めることができる
7. 気を散らせずに注意力を持続させることができる
8. 医学を学ぶのに必要な自然科学の学習をしている
9. 文章を文脈に即して読むことと論理的に書くことができる
10. 英語で書かれた情報を理解し活用することができる

項目
番号

評 価 理 由
(なるべく具体例をあげてください)

注) 記入に当たっては、記入上の注意を参照してください。
※印欄は記入しないでください。

別紙

本学ホームページ（入試情報）に9月下旬までに様式を掲載しますので、ダウンロードして使用してください。※印の欄には記入しないでください。

パソコン入力可です。手書きの場合は黒のボールペンを使用してください。

群馬大学ホームページ：<https://www.gunma-u.ac.jp/>

I. 適性資質調査書記入上の注意

選抜に当たってこの調査書は重要な資料となりますので、その機密性には充分御配慮ください。あらかじめ被推薦者に関する十分な情報を得た上で御記入ください。ただし、記入に当たっては本人と相談したり、本人に見せたりすることのないように充分御注意ください。記載に当たっては記載者の主観が入っても差し支えありません。

A. 記載理由

記載責任者がこの調査書を記入する理由を、被推薦者との関係も含めて分かりやすくお書きください。

B. 医学部医学科進学適性資質に関する評価とその理由

それぞれの資質項目について、評価理由の欄に具体的な例をあげて記載してください。なお、評価しにくい項目は除外しても差し支えありません。

また、入学試験の際に行われる面接においても同じ項目に関して、面接員による評価がなされる予定ですので、公正な立場から判断してください。

C. 特記事項

- (1) 上記適性資質以外でも特記する事項がありましたら記入してください。
- (2) 学校全体或いはクラスでの役員をしたことがあれば、その役名、選出方法、活動状況などを記入してください。
- (3) 所属クラブ、クラブでの役割、活動状況などを記入してください。
- (4) 校外での活動があれば、その活動、加入団体名などを記入してください。
- (5) 本人の趣味、特技などもあれば記入してください。
- (6) 高校等に在学中に、奉仕活動（ボランティア活動）を行った経験がある場合には、主なものを公的（学校の授業の一環として）及び私的（それ以外の場合）に分け、時期・期間・奉仕先・奉仕内容（概要）等を、具体的に記載してください。
- (7) その他何でも本人のセールスポイントとなることを、前項も含めて箇条書きで記入してください。

[空白ページ]

[空白ページ]

実技試験に関する届出用紙（共同教育学部 音楽専攻志願者用）

群馬大学共同教育学部

| 氏 名 | | | 受 験 番 号 | ※ | | | |
|---------|---|----------|------------|---|-----|---|--|
| 器 楽 試 験 | (a) ピアノ | | 作 曲 者 | | | | |
| | | | 曲 名 | | | | |
| | (b) 管、弦、 打楽器 (注) 練習曲集の場合は、 曲集名、曲名（番号） も全て記載してくだ さい。 | ① | 楽 器 名 | | | | |
| | | | 作 曲 者 | | | | |
| | | | 曲 名 (注) | | | | |
| | | | 作品番号 | 第 | 楽 章 | 調 | |
| | | ② ピアノ | 作 曲 者 | | | | |
| | | 曲 名 | | | | | |

※印欄は記入しないでください。

[空白ページ]

群馬大学共同教育学部美術専攻志願者用

(この様式は、必要枚数をコピーして使用してください)

| |
|------|
| 本人記入 |
|------|

| |
|---------|
| 受 験 番 号 |
| ※ |

作品制作証明書(作品写真)

| 制作者氏名 (フリガナ) | | 提出作品番号 () | |
|--------------|-----|------------|--|
| | | 題 名 | |
| 作品写真貼付欄 | | | |
| 大きさ | | 素 材 | |
| 制作年 | 年 月 | | |
| 入選等 | | | |

記載責任者記入

作品制作証明書(制作証明)

特記事項

この証明書の記載事項に誤りがないことを証明します。

年 月 日

学校名

所在地

記載責任者名



記入上の注意

- ①本書と美術活動調査書(様式9)を角形3号封筒に同封し厳封してください。
- ②記載責任者になれる者は、志願者が在籍する出身学校で美術又は工芸の授業を担当している者。
- ③作品1点につき制作証明書を1枚作成してください。
作品は5点以内。写真貼付欄右上の「提出作品番号」欄に通し番号を記入してください。
制作証明書は必要枚数をコピーして使用してください。
- ④「大きさ」は、高さ(H)×幅(W)×奥行き(D)の順で記載し、単位はcmで統一してください。
- ⑤入選歴がある場合は、正式な展覧会名とともに入選年を記載し、入選を示す資料を添付してください。
受賞歴がある場合は、正式な賞の名称を記載し、入賞を示す資料を添付してください。
- ⑥Webコンテンツ作品の場合は、出力した上、URL等も記載してください。
- ⑦映像作品は、MPEG2フォーマットで作成し、DVD-R又はCD-Rに保存して提出してください。
作品写真欄には主要なシーンのキャプチャ画像をプリントアウトしたものを貼り付けてください。
提出メディアには必ず、氏名、題名を記載してください。
映像画像の「大きさ」は、画像の長さを「分」で記載してください。
- ⑧デジタル作品の素材は、使用したアプリケーションを記載してください。
- ⑨※印欄は記入しないでください。

群馬大学共同教育学部美術専攻志願者用

美術活動調査書

| |
|---------|
| 受 験 番 号 |
| ※ |

| 氏名（フリガナ） | 生 年 月 日 | 出 身 学 校 |
|-------------------------------------|---------|----------------|
| | 年 月 日 生 | 国立 公立 私立 |
| 提出作品番号 | 題 名 | |
| 1 | | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |
| この調査書並びに作品制作証明書の記載事項に誤りがないことを証明します。 | | |
| 年 月 日 | | |
| 学 校 名 | | |
| 所 在 地 | | |
| 校 長 名 | 職印 | |

記入上の注意

- ①本書と作品制作証明書（様式8）を角形3号封筒に同封し厳封してください。
- ②※印欄は記入しないでください。

[空白ページ]

群馬大学共同教育学部保健体育専攻志願者用

受験番号

※

スポーツ活動調査書

| 氏名(フリガナ) | 生年月日 | 性別 | 出身学校 | |
|----------------------|--------|-----------|-------|----------|
| | 年 月 日生 | 男・女 | 国立 | 公立 私立 |
| 主たる競技成績(中学校卒業後のもののみ) | | | | |
| 年月 | 大会名 | 種目・ポジション等 | 成績・記録 | |
| | | | | |
| 特記事項 | | | | |
| | | | | |

《表面より》

活動歴

この調査書の記載事項に誤りがないことを証明します。

年 月 日

学 校 名

所 在 地

校 長 名

職印

記載責任者名

印

記入上の注意

- ① ※印欄は、記入しないでください。
- ② 「主たる競技成績」における大会名は、正式名称を記入するとともに、競技成績を確認できるもの（コピー可）を添付してください。また、出願要件を満たしている競技成績（ブロック大会出場以上）に、◎印を付してください。特に、団体競技の場合、選手登録されていることを確認できる大会プログラム（試合への出場状況を確認できるもの）等がある場合は添付してください。
- ③ 「特記事項」には「主たる競技成績」に記入できない段位、ランキング、賞、その他スポーツ活動上、特記する必要があると思われるものを記入するとともに、特記事項を確認できるもの（コピー可）を添付してください。ここでは、県大会レベルの記載は必要ありません。
- ④ 「活動歴」については、これまでに経験したスポーツ、種目、役職等について記入してください。
- ⑤ この調査書は、出身学校長が作成し、押印の上、「厳封」し、表に「スポーツ活動調査書在中」と記入してください。

同 意 書

群馬県知事 殿

下記に定める群馬県緊急医師確保修学資金貸与制度の内容に同意し、群馬大学医学部医学科に地域医療枠として入学した場合は、卒業まで群馬県緊急医師確保修学資金の貸与を受け、卒業後は、同資金の貸与を受けた期間の3分の5に相当する期間、群馬県知事が指定する特定病院において、医師として従事する意志を有していることを確約いたします。

記

- 1 令和5年度学生募集要項
- 2 群馬県緊急医師確保修学資金貸与条例
- 3 群馬県緊急医師確保修学資金貸与条例施行規則
- 4 ぐんま地域医療リーダー養成キャリアパス

西暦 年 月 日

入学志願者（自署）

住所

氏名

⑩

保護者もしくは法定代理人（自署）

住所

氏名

⑩

[空白ページ]

学校推薦型選抜Ⅱ 医学部医学科志願者用

大学入学共通テスト成績請求票 貼付台紙

| | | |
|------|--|------|
| フリガナ | | 受験番号 |
| 氏名 | | |

成績請求票を貼る欄

令和5共通テスト
成績請求票

国公立推薦型選抜用

必要事項を記入し、大学入試センターから送付される「令和5年度大学入学共通テスト受験票」に添付されている「成績請求票」のうち、「**国公立推薦型選抜用**」をこの用紙の「成績請求票を貼る欄」に貼り、**簡易書留にて下記提出先に郵送（郵送封筒は任意）**してください。

なお、提出期限までに大学入試センターから「令和5年度大学入学共通テスト受験票」が届かない場合は、下記提出先に電話連絡してください。

提出期間 **令和4年12月15日（木）から12月21日（水）【必着】**

提出先 〒371-8510 前橋市荒牧町4-2

群馬大学学務部学生受入課

電話 027-220-7150

[空白ページ]

[空白ページ]



周囲は群馬県の象徴である名勝赤城、榛名、妙義の上毛三山を浮き彫りさせて大学を囲み、群馬大学の象徴としています。

入 試 情 報

■群馬大学ホームページ <https://www.gunma-u.ac.jp/>

「入試情報」において、以下の情報等をお知らせしています。

- 学生募集要項
- 進学相談会・オープンキャンパス等各種イベント案内
- 入試実施状況、入試統計資料
- 入学時の経費（入学料・授業料等）、奨学金情報
- 過去の入試問題
- 資料請求方法



入学試験に関する問合せ先

受付時間 8時30分から12時、13時から17時15分（土・日曜日、祝休日、年末年始を除く）
本学は主体的に学ぶ姿勢を持つ学生を求めています。問合せは、原則として志願者本人が行ってください。

■本要項及び入学試験全般に関するお問合せ

学務部学生受入課

電話 027-220-7150、7151、7152 / FAX 027-220-7155
〒371-8510 前橋市荒牧町4-2

■各学部入試担当係

○共同教育学部（免許状更新講習・入学試験係）

電話 027-220-7225 〒371-8510 前橋市荒牧町4-2

○情報学部（教務係）

電話 027-220-7404 〒371-8510 前橋市荒牧町4-2

○医学部（昭和地区事務部学務課入学試験係）

電話（医学科）027-220-8910 } 〒371-8511 前橋市昭和町3-39-22
（保健学科）027-220-8909 }

○理工学部（入試・大学院係）

電話 0277-30-1037 〒376-8515 桐生市天神町1-5-1

LINEとTwitterから大学情報をお知らせしています。



https://page.line.me/gunma_univ_pr



https://twitter.com/gunma_uni_ad